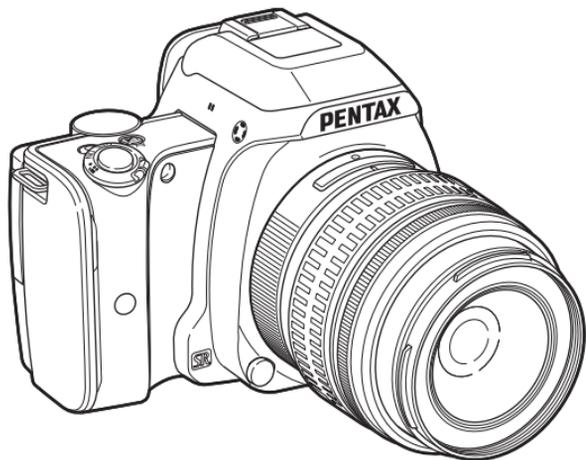


RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX *K-S1*

使用説明書



基礎知識 1

準備 2

撮影 3

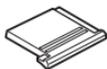
再生 4

設定 5

付録 6

カメラの正しい操作のために、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

同梱品を確認しましょう



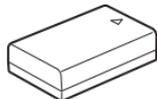
ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



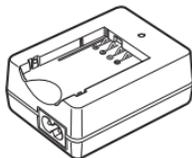
アイカップ Fr
(カメラ装着)



ボディマウントカバー
(カメラ装着)



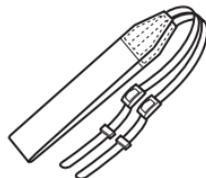
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI109



バッテリー充電器
D-BC109



ACコード
D-CO2J



ストラップ
O-ST132



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW151



スタートガイド



保証書

使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、DA/DA L/D FA/FA Jまたは絞り **A** (オート) 位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.84を参照してください。

K-S1の基礎知識

1

準備しましょう

2

いろいろな写真を撮影してみましょう

3

いろいろな再生と編集

4

設定を変更する

5

付録

6

本書の使い方

1

K-S1の基礎知識 p.7

K-S1の全体像を紹介しています。
まずここを読んでK-S1を知ろう！

- 各部の名称と機能 p.7
- 機能の設定方法 p.16
- メニュー一覧 p.18

2

準備しましょう p.26

K-S1を使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ストラップの取り付け p.26
- レンズの取り付け p.26
- バッテリーのセット p.27
- メモリーカードのセット p.30
- 初期設定 p.31
- 撮影のキホン p.34
- 画像の確認 p.36

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.37

カメラが正しく動作することが確認できたら、
たくさん写真を撮ってみよう！

- 記録方法を設定する p.37
- 静止画を撮影する p.38
- 動画を撮影する p.43
- 露出を設定する p.44
- フラッシュを使う p.46
- フォーカスモードを設定する p.47
- ドライブモードを設定する p.51
- ホワイトバランスを設定する p.54
- 仕上がりにイメージを決めて撮影する p.56
- 補正して撮影する p.59

4

いろいろな再生と編集..... p.61

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- 再生モードパレットの設定項目 p.61
- 再生方法を変更する p.62
- パソコンと接続する p.66
- 画像を加工・編集する p.67

5

設定を変更する p.73

その他の設定変更を掲載しています。

- カメラの設定 p.73
- 画像管理に関する設定 p.77

6

付録..... p.82

資料を掲載しています。

- 撮影モードの機能制限 p.82
- 各種レンズ使用時の機能 p.84
- 外付けフラッシュ利用時の機能 p.87
- GPSユニットを利用する p.88
- 困ったときは p.89
- 主な仕様 p.93
- 索引 p.99
- ご注意ください p.104
- 取り扱い上の注意 p.105
- アフターサービスについて p.108

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

目次

本書の使い方2

K-S1 の基礎知識7

各部の名称と機能7

ボタン・ダイヤル・レバー・ランプ8

画像モニター10

ファインダー15

機能の設定方法16

ダイレクトキーで設定する16

コントロールパネルで設定する16

メニューで設定する17

メニュー一覧18

撮影メニュー18

動画メニュー20

再生メニュー21

詳細設定メニュー22

カスタムメニュー24

準備しましょう26

ストラップの取り付け26

レンズの取り付け26

バッテリーのセット27

バッテリーを充電する27

バッテリーを入れる28

ACアダプターを使用する29

メモリーカードのセット30

初期設定31

電源を入れる31

言語を設定する31

日時を設定する32

画面表示を設定する33

メモリーカードをフォーマットする33

撮影のキホン34

ライブビューで撮影35

画像の確認36

いろいろな写真を撮影してみましょう ...37

記録方法を設定する37

静止画の記録設定37

動画の記録設定37

静止画を撮影する38

シーンモード38

エフェクトモード39

露出モード40

露出補正42

動画を撮影する43

動画の再生44

露出を設定する44

ISO感度44

測光方式45

フラッシュを使う46

フォーカスモードを設定する47

ファインダー撮影のAFモード48

ライブビュー撮影のAFモード50

AF位置を微調整する51

ドライブモードを設定する	51	設定を変更する	73
連続撮影	52	カメラの設定	73
セルフタイマー	52	ボタンをカスタマイズする	73
リモコン	53	目的地の日時を表示する	76
露出ブラケット	53	カメラに保存する設定を選択する	76
ホワイトバランスを設定する	54	画像管理に関する設定	77
マニュアルでホワイトバランスを調整する	55	画像を消去できないようにする（プロテクト）	77
色温度でホワイトバランスを調整する	56	フォルダー／ファイルの設定	77
仕上がりイメージを決めて撮影する	56	著作権情報を設定する	80
カスタムイメージ	56	通信カードを利用する	81
デジタルフィルター	58	付録	82
補正して撮影する	59	撮影モードの機能制限	82
明るさを補正する	59	特殊機能の組み合わせ制限	83
レンズ特性を補正する	60	各種レンズ使用時の機能	84
ローパスフィルター効果を利用する	60	レンズ焦点距離を入力する	85
いろいろな再生と編集	61	絞りリングの使用を許可する	86
再生モードパレットの設定項目	61	外付けフラッシュ利用時の機能	87
再生方法を変更する	62	GPSユニットを利用する	88
複数画像を表示する	62	天体を撮影する（アストロトレーサー）	88
フォルダーごとに表示する	63	困ったときは	89
撮影日ごとに表示する	63	センサーのクリーニング	90
連続して再生する（スライドショー）	64	エラーメッセージ	91
画像を回転して表示する	64	主な仕様	93
AV機器と接続する	65	USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	98
パソコンと接続する	66	索引	99
画像を加工・編集する	67	ご注意ください	104
画像のサイズを変更する	67	取り扱い上の注意	105
色モアレを補正する	68	アフターサービスについて	108
デジタルフィルターで加工する	68		
動画の編集	70		
RAW展開	71		

著作権について

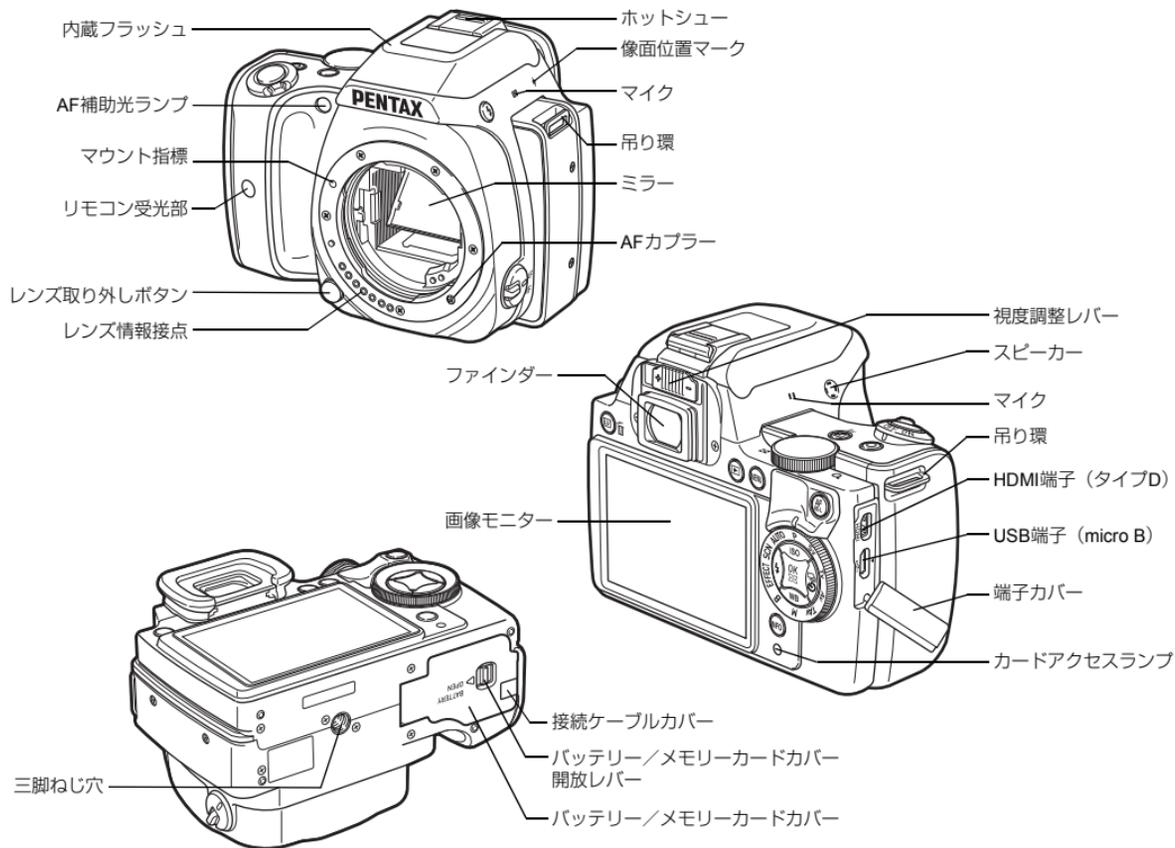
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

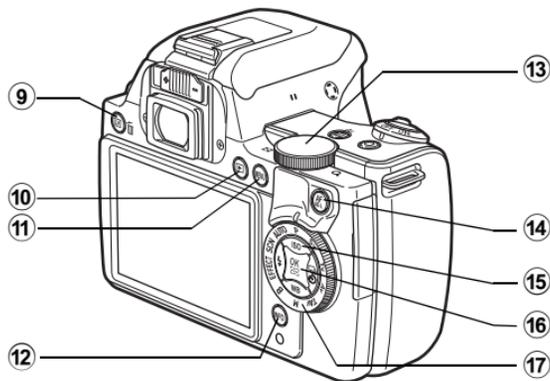
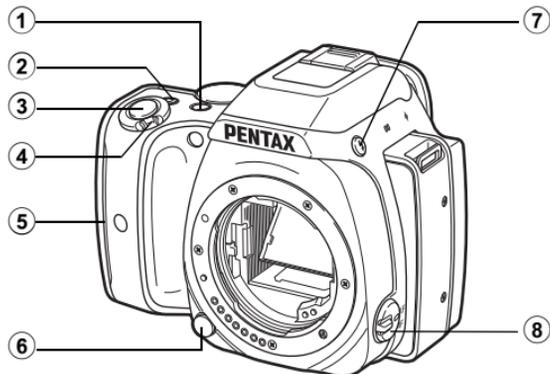
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー・ランプ



- ① **露出補正ボタン ( / Av)**
露出補正值を変更するときに押します。(p.42)
TAv / Mモード時は、シャッター速度/絞り値のどちらを変更するかを切り換えます。
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存できます。(p.36)
- ② **グリーンボタン ()**
設定中の値をリセットします。
ISO感度設定中は、ISO AUTOに変更します。
別の機能を割り当てて使用することもできます。(p.73)
- ③ **シャッターボタン ( SHUTTER)**
画像を撮影します。(p.34)
再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ④ **電源レバー**
電源のON / OFFと、 (動画) モードを切り替えます。
(p.31、p.43)
ONにすると  (静止画) モードになり、ランプが緑で点灯します。 に合わせると、 モードになり、赤で点灯します。
- ⑤ **グリップ部ランプ**
セルフタイマー/リモコン撮影時や、ライブビュー撮影の顔検出時などに5つのランプが緑で点灯します。(p.50、p.52)
- ⑥ **レンズ取り外しボタン**
レンズを取り外すときに押します。(p.26)
- ⑦ **フラッシュポップアップボタン ()**
内蔵フラッシュをポップアップさせます。(p.46)
- ⑧ **フォーカスモード切替レバー**
フォーカスモードを切り替えます。(p.47)
- ⑨ **ライブビュー/消去ボタン ( / )**
ライブビューを表示します。(p.35)
再生モード時は、画像を消去します。(p.36)

- ⑩ **再生ボタン** (⏮)
- 再生モードに切り替えます。(p.36) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。
- ⑪ **MENUボタン** (MENU)
- メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.17)
- ⑫ **INFOボタン** (INFO)
- 画像モニターの表示を切り替えます。(p.10、p.13)
- ⑬ **電子ダイヤル** (⊙)
- 露出などの設定値を変更します。(p.41)
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。(p.17)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.16)
再生モード時は、画像を拡大／複数画像表示します。(p.36、p.62)
- ⑭ **AF/AEロックボタン** (AF/AE-L)
- SHUTTER 半押し代わりにピントを合わせたり、撮影前の露出値を記憶します。(p.47、p.73)
- ⑮ **十字キー** (▲▼◀▶)
- ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。(p.16)
メニュー／コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生モードの1画像表示で ▼ を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.61)
- ⑯ **OKボタン** (OK)
- メニュー／コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
「測距点切替」が [] / [] のとき、または「コントラストAF」が [] / [] のときに押すと、測距点／AFエリアが移動できる状態になります。(p.49、p.50)

電源をONにするとランプが青で点灯します。測距点／AFエリアが移動できる状態のときは、ランプが消灯します。

- ⑰ **モードダイヤル**
- 撮影モードを切り替えます。(p.34)
電源をONにするとランプが白で点灯し、設定されている撮影モードは緑で点灯します。

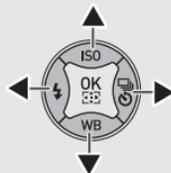
ランプについて

電源レバー／グリップ部／モードダイヤル／OK のランプは、以下のときは消灯します。

- SHUTTER 半押しから撮影終了まで
 - AF/AE-L を押しているとき
 - 再生モード
 - メニュー表示中
 - オートパワーオフ中
- ランプの点灯については、☞3メニュー「操作部の発光」で設定ができます。(p.23)

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。



画像モニター

1

基礎知識

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。

ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。

ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.16) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.12)



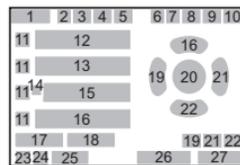
撮影待機状態
(ステータススクリーン)

コントロールパネル



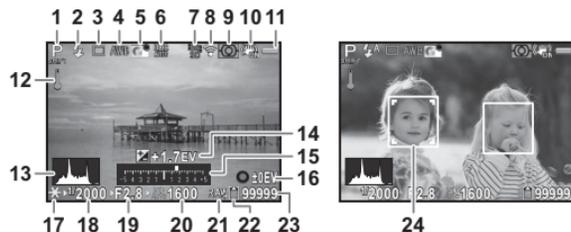
撮影情報表示選択

ステータススクリーン



- 1 撮影モード (p.38)
- 2 AEロック (p.42)
- 3 フォーカスモード (p.47)
- 4 カスタムイメージ (p.56)
- 5 デジタルフィルター (p.58) /HDR撮影 (p.59)
- 6 GPS測位状態 (p.88)
- 7 無線LAN通信状態 (p.81)
- 8 測光方式 (p.45)
- 9 Shake Reduction (p.19)
- 10 バッテリー残量
- 11 電子ダイヤル操作ガイド
- 12 シャッター速度
- 13 絞り値
- 14 露出補正 (p.42) / 露出ブラケット (p.53)
- 15 露出バー
- 16 ISO感度 (p.44)
- 17 フラッシュ光量補正 (p.46)
- 18 ホワイトバランス微調整 (p.54)
- 19 フラッシュモード (p.46)
- 20 測距点 (p.49)
- 21 ドライブモード (p.51)
- 22 ホワイトバランス (p.54)
- 23 記録形式 (p.37)
- 24 メモリーカード
- 25 撮影可能枚数
- 26 アストロトレーサー追尾可能時間 (p.88)
- 27 操作ガイド

ライブビュー



- | | |
|--|------------------------------|
| 1 撮影モード (p.38) | 11 バッテリー残量 |
| 2 フラッシュモード (p.46) | 12 温度警告 |
| 3 ドライブモード (p.51) | 13 ヒストグラム |
| 4 ホワイトバランス (p.54) | 14 露出補正 (p.42) |
| 5 カスタムイメージ (p.56) | 15 露出バー |
| 6 デジタルフィルター (p.58) /HDR 撮影 (p.59) | 16 操作ガイド |
| 7 GPS測位状態 (p.88) | 17 AEロック (p.42) |
| 8 無線LAN通信状態 (p.81) | 18 シャッター速度 |
| 9 測光方式 (p.45) | 19 絞り値 |
| 10 Shake Reduction (p.19) /Movie SR (p.20) | 20 ISO感度 (p.44) |
| | 21 記録形式 (p.37) |
| | 22 メモリーカード |
| | 23 撮影可能枚数 |
| | 24 コントラストAF「顔検出」の顔検出枠 (p.50) |

メモ

- カメラメニュー「ライブビュー」で、ライブビュー中に表示する情報の設定ができます。(p.19)

コントロールパネル

カメラモード



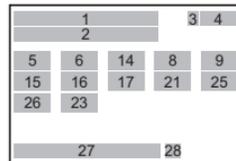
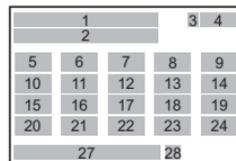
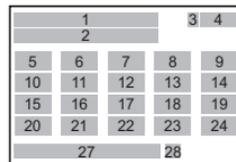
ライブビュー撮影時



撮影モード



- | | |
|---|----------------------|
| 1 機能名称 | 6 デジタルフィルター (p.58) |
| 2 設定 | 7 HDR撮影 (p.59) |
| 3 メモリーカード | 8 ハイライト補正 (p.59) |
| 4 撮影可能枚数/記録可能時間 | 9 シャドウ補正 (p.59) |
| 5 カスタムイメージ (p.56) /シーンモード (p.38) /エフェクトモード (p.39) | 10 ディストーション補正 (p.60) |
| | 11 倍率色収差補正 (p.60) |
| | 12 周辺光量補正 (p.60) |



- 13 回折補正 (p.60)
- 14 測光方式 (p.45)
- 15 AFモード (p.48) / コントラストAF (p.50)
- 16 測距点切替 (p.49) / フォーカスアシスト (p.50)
- 17 AF補助投光 (p.48)
- 18 高感度NR (p.45)
- 19 長秒時NR (p.41)
- 20 記録形式 (p.37)
- 21 JPEG記録サイズ (p.37) / 動画記録サイズ (p.37)
- 22 JPEG画質 (p.37)
- 23 Shake Reduction (p.19) / Movie SR (p.20)
- 24 ローパスセレクター (p.60)
- 25 フレームレート (p.37)
- 26 録音レベル (p.43)
- 27 現在の日時
- 28 目的地 (p.76)

●メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状態に戻ります。
- 1メニュー「画面表示」の「配色」で、ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューカーソルの配色を変更できます。(p.22)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。

ファインダー撮影時

ステータススクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示 (p.10)
画像モニターオフ	画像モニターを非表示
電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き(方位)、協定世界時、撮影モード、露出値を表示。電源を入れ直すと、ステータススクリーンに戻る 別売のGPSユニットを装着し、GPSユニットが動作しているときのみ選択可能 (p.88)

ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示 (p.11)
情報表示なし	撮影モードやドライブモードなど、一部のアイコンを非表示

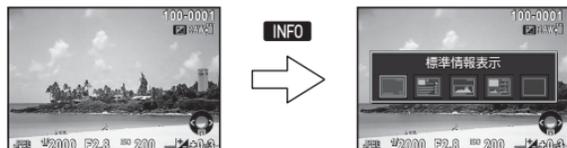
●メモ

- 電源を入れ直すと、常にステータススクリーンが表示されません。4メニュー「モードメモリ」の「撮影情報表示」をオンに設定すると、電源を入れ直したときに撮影情報表示選択で選択した画面から表示されます。(p.76)

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。◀▶で選択して **OK** を押します。



1画像表示
(標準情報表示)

再生情報表示選択

標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.13)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示 (p.14) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示 (p.14) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

メモ

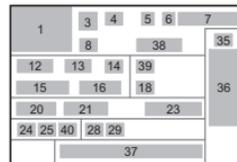
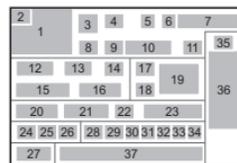
- 電源を入れ直して再生モードにすると、再生情報表示選択で選択した画面が表示されます。カメラメニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.76)

詳細情報表示

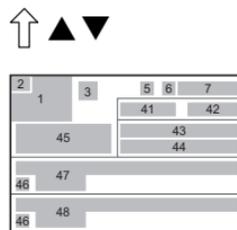
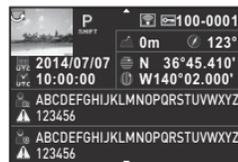
静止画



動画



2ページ目

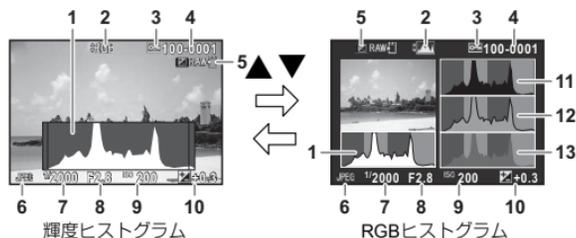


- 1 撮影画像
- 2 回転情報 (p.64)
- 3 撮影モード (p.38)
- 4 デジタルフィルター (p.58) / HDR 撮影 (p.59)
- 5 無線LAN転送済み (p.81)
- 6 プロテクト (p.77)
- 7 フォルダー No.-ファイルNo. (p.77)
- 8 ドライブモード (p.51)

- 9 フラッシュモード (p.46)
- 10 フラッシュ光量補正 (p.46)
- 11 色モアレ補正 (p.68)
- 12 シャッター速度
- 13 絞り値
- 14 Shake Reduction (p.19) / Movie SR (p.20)
- 15 ISO感度 (p.44)
- 16 露出補正 (p.42)
- 17 フォーカスモード (p.47)
- 18 測光方式 (p.45)
- 19 測距点 (p.49)
- 20 ホワイトバランス (p.54)
- 21 ホワイトバランス微調整 (p.54)
- 22 ローパスセクター (p.60)
- 23 レンズ焦点距離
- 24 記録形式 (p.37)
- 25 JPEG記録サイズ (p.37) / 動画記録サイズ (p.37)
- 26 JPEG画質 (p.37)
- 27 色空間 (p.25)
- 28 ハイライト補正 (p.59)
- 29 シャドー補正 (p.59)
- 30 ディストーション補正 (p.60)
- 31 倍率色収差補正 (p.60)
- 32 周辺光量補正 (p.60)
- 33 回折補正 (p.60)
- 34 フリンジ補正 (p.71)
- 35 画像仕上 (p.56)
- 36 カスタムイメージパラメーター
- 37 撮影日時
- 38 記録時間
- 39 音量
- 40 フレームレート (p.37)
- 41 高度 (p.88)
- 42 方位 (p.88)
- 43 緯度 (p.88)
- 44 経度 (p.88)
- 45 協定世界時
- 46 情報改ざん警告
- 47 撮影者名 (p.80)
- 48 著作権者名 (p.80)

ヒストグラム表示 / RGBヒストグラム表示

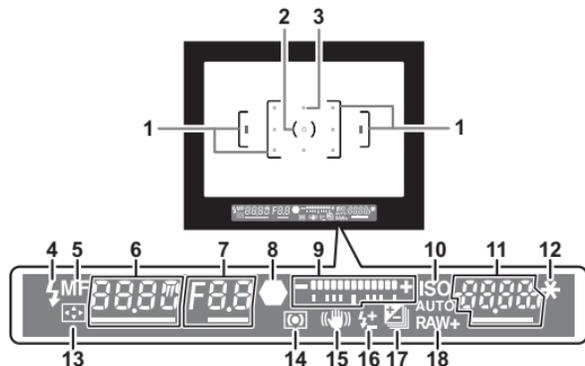
▲▼でヒストグラム表示とRGBヒストグラム表示が切り替えられます。



- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 ヒストグラム (輝度) | 7 シャッター速度 |
| 2 RGBヒストグラム / 輝度ヒストグラム切り替え | 8 絞り値 |
| 3 プロテクト | 9 ISO感度 |
| 4 フォルダ No.-ファイル No. | 10 露出補正 |
| 5 バッファ RAW保存可能 | 11 ヒストグラム (R) |
| 6 記録形式 | 12 ヒストグラム (G) |
| | 13 ヒストグラム (B) |

ファインダー

ファインダー撮影時は、ファインダー内に以下の情報が表示されます。



- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 AFフレーム (p.34) | 10 ISO/ISO AUTO |
| 2 スポット測光フレーム (p.45) | 11 ISO感度 (p.44) /露出補正值 |
| 3 測距点 (p.49) | 12 AEロック (p.42) |
| 4 フラッシュマーク (p.46) | 13 測距点移動 (p.49) |
| 5 フォーカスモード (p.47) | 14 測光方式 (p.45) |
| 6 シャッター速度 | 15 Shake Reduction (p.19) |
| 7 絞り値 | 16 フラッシュ光量補正 (p.46) |
| 8 合焦マーク (p.34) | 17 露出補正 (p.42) /露出ブラケット (p.53) |
| 9 露出バー | 18 記録形式 (p.37) |

メモ

- ファインダー内の表示は、**SHUTTER** 半押し時と、測光作動時間 (初期設定: 10秒) の間に表示されます。
- SHUTTER** を半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が赤く点灯 (スーパーインポーズ) します。**C2**メニュー「14 スーパーインポーズ」でオフにできます。
- ファインダーの視度は、視度調整レバーで調節できます。視度調整レバーが操作しづらいときは、アイカップを引き上げて外してください。ファインダー内のAFフレームがはっきり見えるように調整します。



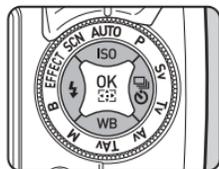
機能の設定方法

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で INFO を押す (本書では  マークで表示)
メニュー	MENU を押す

ダイレクトキーで設定する

▲	ISO感度	p.44
▼	ホワイトバランス	p.54
◀	フラッシュモード	p.46
▶	ドライブモード	p.51



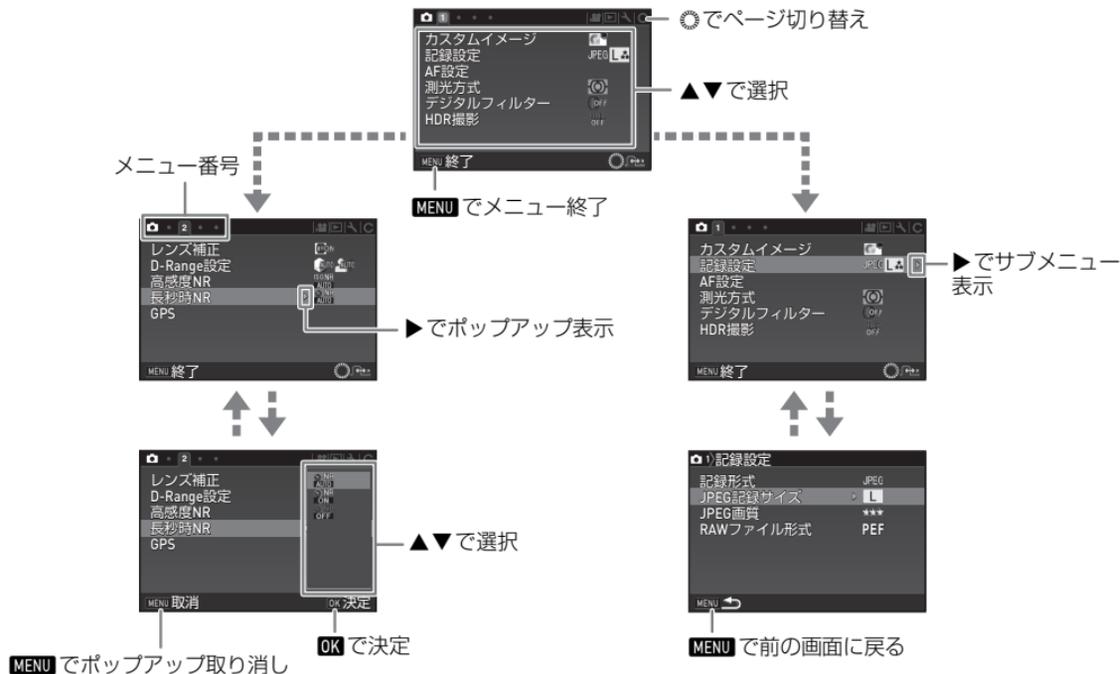
コントロールパネルで設定する

INFO

よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態で **INFO** を押します。



ほとんどの機能はメニューで設定します。コントロールパネルで設定できる機能もメニューで設定できます。



メモ

- **C1**～4メニューは、サブメニューが表示されている状態で \odot を操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- **MENU**を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示させたいときは、**C4**メニュー「23 メニュー選択の記憶」で設定します。
- 設定した内容は、 \mathcal{R} 3メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。**C1**～4メニューは、**C4**メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。(一部の機能を除く)

メニュー一覧

1

基礎知識

撮影メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
📷1	カスタムイメージ *1 *4	色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.56	
	シーンモード *2 *4	SCNモードのときのシーンを選択	人物	p.38	
	エフェクトモード *3 *4	EFFECTモードのときのエフェクトを選択	フェードカラー	p.39	
	記録設定	記録形式 *4	ファイル形式を設定	JPEG	p.37
		JPEG記録サイズ *4	JPEGで記録した場合の記録サイズを設定	[L]	
		JPEG画質 *4	JPEGで記録した場合の画質を設定	★★★	
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
	AF設定	AFモード *4	ファインダー撮影時のオートフォーカスの方法を選択	AFA	p.48
		測距点切替 *4	ファインダー撮影時のピント合わせの位置を選択	オート (11点)	p.49
		AF補助投光 *4	暗い場所でオートフォーカスするときに、補助投光を行うかどうかを設定	オン	p.48
	測光方式 *4	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.45	
	デジタルフィルター *4	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.58	
	HDR撮影	HDR撮影 *4	ハイダイナミックレンジ撮影のタイプを選択	オフ	p.59
		振り幅設定 *4	露出を変化させる幅を設定	±2EV	
自動位置調整		自動で位置調整を行うかどうかを設定	オン		

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
📷2	レンズ補正	ディストーション補正 ^{*4}	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.60
		倍率色収差補正 ^{*4}	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
		周辺光量補正 ^{*4}	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
		回折補正 ^{*4}	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン	
	D-Range設定	ハイライト補正 ^{*4}	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.59
		シャドー補正 ^{*4}	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	高感度NR ^{*4}		高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.45
	長秒時NR ^{*4}		低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.41
GPS		別売のGPSユニットを使用するときの動作を設定	-	p.88	
📷3	ライブビュー	コントラストAF ^{*4}	ライブビュー撮影時のAFモードを設定	顔検出	p.50
		フォーカスアシスト ^{*4}	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.50
		グリッド表示	ライブビューにグリッドを表示	オフ	p.11
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
	ローパスセクター ^{*4}		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.60
	Shake Reduction ^{*4}		手ぶれ補正機能を設定	オン	-
	焦点距離入力		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.85
📷4	クイックビュー	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒	p.34
		拡大表示	クイックビュー中に拡大表示するかどうかを設定	オン	
		RAW追加保存	クイックビュー中にRAW画像を追加保存するかどうかを設定	オン	
		消去	クイックビュー中に消去するかどうかを設定	オン	
		ヒストグラム表示	クイックビュー中にヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	クイックビュー中に白とび部分を赤で点滅表示	オフ	

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
📷4	AF/AE-Lボタン	AF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	p.73
	ボタンカスタマイズ	AF/AE-Lボタン（動画） 📷モード時のAF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	
	グリーンボタン	○の動作を設定	グリーンボタン	
	電子ダイヤル	🌀を操作したときの値の変化	順方向	
	モードメモリ	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	デジタルフィルター／HDR撮影／撮影情報表示以外オン	p.76

*1 SCN / EFFECT モード以外のときに表示

*2 SCN モードのときに表示

*3 EFFECT モードのときに表示

*4 コントロールパネルでも設定可能

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
📹1	記録設定 *1	記録サイズとフレームレートを設定	FullHD / 30p	p.37
	録音レベル *1	記録時の録音レベルと音量を設定	オート	p.43
	デジタルフィルター *1	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.58
	Movie SR *1	動画の手ぶれ補正機能を設定	オン	-

*1 コントロールパネルでも設定可能

再生メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
▶1	スライド ショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒	p.64
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	
		繰り返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン	
	クイック拡大	拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	-	
	白とび警告	再生モードの標準情報表示／ヒストグラム表示で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	-	
	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	p.64	
	全画像プロテクト	保存されているすべての画像をプロテクト	-	-	
全画像消去	保存されているすべての画像を消去	-	-		

詳細設定メニュー

1

基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
1	Language/言語	表示言語の切り替え	English	p.31	
	日時設定	年月日の表示形式と日時を設定	2014/01/01	p.32	
	ワールドタイム	現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.76	
	文字サイズ	メニュー選択時の文字サイズを拡大するかどうかを設定	標準	p.32	
	電子音	合焦音/ AE-L / セルフタイマー / リモコン / 測距点移動 / ワンタッチRAW+時の音量とオン/オフを切り替え	音量3 / すべてオン	-	
	画面表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示するかどうかを設定	オン	p.34
		配色	ステータススクリーン / コントロールパネル / メニューのカーソルの配色を設定	1	p.12
LCD設定	画像モニターの明るさ / 彩度 / 色味を調整	0	-		
2	USB接続	パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.66	
	HDMI出力	AV機器とHDMI端子で接続するときを設定	オート	p.65	
	フォルダー名	画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.77	
	フォルダー新規作成	メモリーカードに新しいフォルダーを作成	-	p.78	
	ファイル名	画像に付与されるファイル名を設定	IMGP / _IMG	p.79	
	ファイルNo.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続するかどうかを設定	オン	p.79
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	-	
著作権情報	Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.80		

メニュー	項目	機能	初期設定	参照	
㊄3	フリッカー低減	電源周波数を設定し、画面のちらつきを低減	50Hz	-	
	オートパワーオフ	一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.31	
	操作部の発光	ボディライト	電源ON時に電源レバー/モードダイヤル/OKボタン/グリップ部ランプを点灯	明るい	p.9
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影のカウントダウン時のグリップ部ランプの点灯	オン	
		リモコン	リモコン撮影のグリップ部ランプの点灯	オン	
	通信カード	Eye-Fiカード/FLUカードを使用するときの動作を設定	-	p.81	
リセット	📷メニュー/📷メニュー/📷メニュー/📷メニュー/ダイレクトキー/コントロールパネル/再生モードパレットの設定内容を初期化	-	-		
㊄4	ピクセルマッピング	CMOSセンサーの画素の欠損部分を補完	-	p.90	
	ダストリムーバル	CMOSセンサーを振動させてクリーニング	オフ	p.89	
	センサークリーニング	CMOSセンサーをプロアーでクリーニングするために、ミラーアップ	-	p.90	
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	-	p.33	
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	-	-	

カスタムメニュー

1

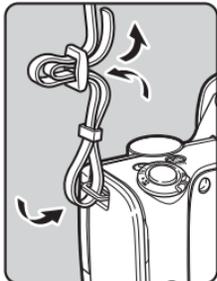
基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C1	1 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.41
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.44
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	-
	4 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	-
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	p.45
	6 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正するかどうかを設定	オフ	-
	7 B時の撮影方法	BモードのSHUTTERの動作を設定	Type1	-
C2	8 ブラケット撮影順	露出ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.53
	9 ワンプッシュブラケット	露出ブラケット撮影時に1回のレリーズで全コマ撮影するかどうかを設定	オフ	p.53
	10 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定	p.55
	11 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.55
	12 白熱灯下のAWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強	p.55
	13 色温度ステップ	色温度の調整ステップを設定	ケルビン	p.56
	14 スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯させるかどうかを設定	オン	p.15

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C3	15 AF.Sの動作	フォーカスモード AF.S で SHUTTER を全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.48
	16 AF.C 1コマ目の動作	フォーカスモード AF.C で SHUTTER を全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	レリーズ優先	p.48
	17 AF.C連続撮影中の動作	フォーカスモード AF.C で連続撮影中の優先動作を設定	フォーカス優先	p.48
	18 AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持するかどうかを設定	オフ	p.48
	19 リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.53
	20 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.46
	21 色空間	使用する色空間を設定	sRGB	-
C4	22 回転情報の記録	回転情報を記録するかどうかを設定	オン	p.64
	23 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない	p.17
	24 キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行うかどうかを設定	オフ	-
	25 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.51
	26 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが A 位置以外のときに撮影可能にするかどうかを設定	禁止	p.86
	カスタムのリセット	C1 ~ 4 メニューの設定内容をリセット	-	-

ストラップの取り付け

- 1 ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する



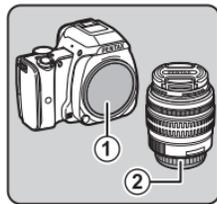
- 2 もう一方も同様に取り付け

レンズの取り付け

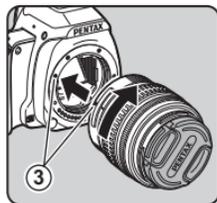
- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

- 2 ボディマウントカバー (①) とレンズマウントカバー (②) を外す

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く



- 3 カメラとレンズのマウント指標 (赤点/③) を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタン (④) を押しながらレンズを左へ回す



●注意

- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

●メモ

- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.84)を参照してください。

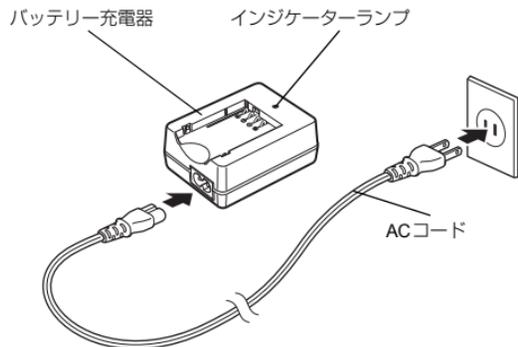
バッテリーのセット

本機専用のバッテリーD-LI109とバッテリー充電器D-BC109を使用します。

バッテリーを充電する

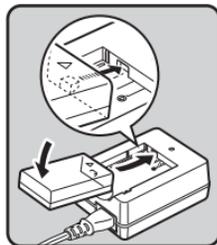
1 バッテリー充電器にACコードを接続

2 ACコードをコンセントに差し込む



3 バッテリーの▲マークがある面を上にして充電器にセット

バッテリーを充電器に斜めに差し込んでからはめ込む
充電中はインジケータランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了



●注意

- バッテリー充電器D-BC109では、D-LI109以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケータランプが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い（バッテリーの寿命）

●メモ

- 充電時間は、最大で約240分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40°Cの環境で充電してください。

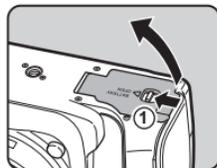
バッテリーを入れる

●注意

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときは、バッテリー／メモリーカードカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。

1 バッテリー／メモリーカードカバーを開ける

バッテリー／メモリーカードカバー開放レバー (1) をスライドさせて開ける

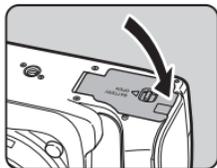


2 バッテリーの▲マークをレンズ側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



3 バッテリー／メモリーカードカバーを閉める



●メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion 00

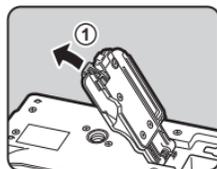
ACアダプターを使用する

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、別売のACアダプターキット K-AC128Jのご使用をお勧めします。

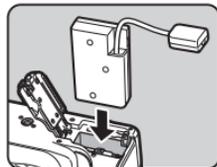
1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

2 バッテリー／メモリーカードカバーを開ける バッテリーがセットされていたときは取り出す

3 バッテリー／メモリーカードカバー右側の接続ケーブルカバー (①) を引き出す



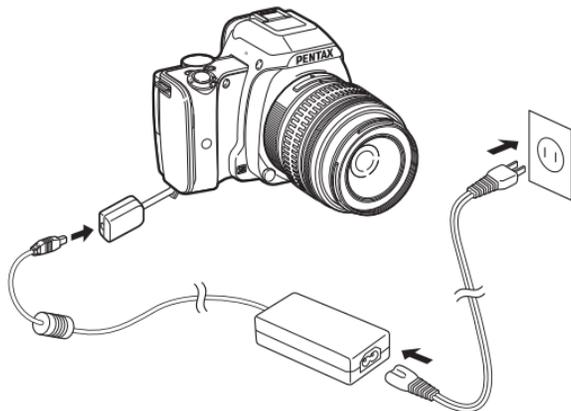
4 バッテリー室にDCケーブルを挿入



5 バッテリー／メモリーカードカバーを閉める 接続ケーブルカバー部分からケーブルを引き出す



6 DCカプラーとACアダプターを接続



7 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

●注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- DCカプラーを取り出したら、接続ケーブルカバーを元に戻してください。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

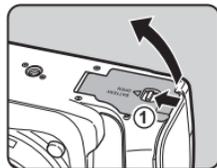
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカード
- Eye-Fiカード
- 本機対応FLUカード

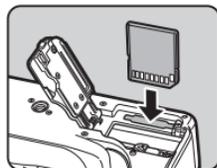
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

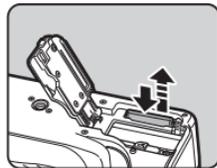
2 バッテリー／メモリーカードカバーを開ける



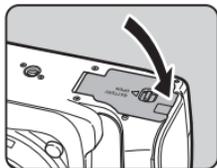
3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



4 バッテリー／メモリーカードカバーを閉める



●注意

- カードアクセスランプ（オレンジ）点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにバッテリー／メモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.33）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

●メモ

- Eye-Fiカード／FLUカードを使用するときは、「通信カードを利用する」（p.81）を参照してください。

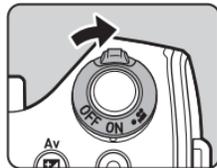
初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

1 電源レバーを「ON」に合わせる

ランプが緑で点灯
初めて電源を入れたときは、「Language/言語」画面が表示



●メモ

- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。（初期設定：1分）**3**メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。（p.23）

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択して **OK** を押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示
📍に都市名が正しく設定されているときは、手順6へ



2 ▼で選択枠を📍に移動し、▶を押す 「📍現在地」画面が表示

3 ◀▶で都市を選択

○で地図表示切り替え

指定できる都市は、「都市名一覧」
(p.97) 参照4 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で/☑を設定

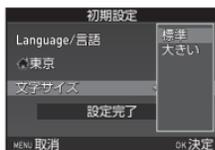
5 OKを押す

「初期設定」画面に戻る

6 ▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す

7 ▲▼で標準/大きいを選択、
OKを押す

「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



8 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「日時設定」画面が表示



日時を設定する

1 ▶を押し、▲▼で日付の表示
スタイルを選択

2 ▶を押し、▲▼で24h/12hを選択

3 OKを押す

選択枠が「表示スタイル」に戻る

4 ▼を押してから▶を押す

選択枠が西暦年に移動

5 ▲▼で西暦年を設定
同様に月/日と時刻を設定6 ▼で「設定完了」を選択、OK
を押す

「画面表示」画面が表示



画面表示を設定する

1 ◀▶で配色を選択

1~12の中から、ステータススクリーン/コントロールパネル/メニューのカーソルの色を選択



2 OKを押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモ

- 設定した言語/文字サイズ/日時/画面表示は、**1**メニューで変更できます。(p.22)

メモリーカードをフォーマットする

4

1 MENUを押す

1メニューが表示

2 **4**で**4**メニューを表示

3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す 「フォーマット」画面が表示

4 ▲で「フォーマット」を選択、OKを押す

フォーマット開始→**4**メニューに戻る



5 MENUを2回押す

注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「K-S1」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「K-S1」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

2

準備

撮影のキホン

最適な撮影モードが自動で選択される **AUTO** モードで撮影してみましょう。

2

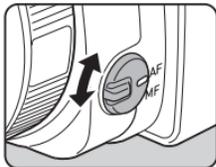
準備

- 1 図の矢印部分を押し
ズキャップを外す

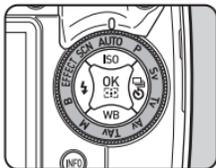


- 2 電源を入れる

- 3 フォーカスモード切替レバーを **AF** に合わせる



- 4 モードダイヤルを回して **AUTO** を上に移動する
AUTO が緑で点灯



画像モニターに撮影モードが表示
（ガイド表示）

☞ ガイド表示の設定（p.22）



- 5 ファインダーをのぞいて被
写体を確認

ズームレンズ使用時は、ズームリ
ングを回して画角を調整



- 6 **AF** フレーム内に被写体を入
れて **SHUTTER** 半押し

ピントが合うと、ファインダー内
の●が点灯し「ピピッ」と電子音

☞ 電子音の設定（p.22）



合焦マーク

- 7 **SHUTTER** 全押し

撮影画像が画像モニターに表示（クイックビュー）

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

消去

拡大

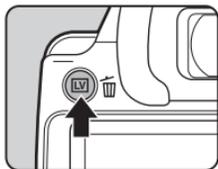
RAW画像を追加保存

☞ クイックビューの表示設定（p.19）

ライブビューで撮影

1 「撮影のキホン」(p.34) の手順5で **LV** を押す

画像モニターにライブビュー画像が表示



2 画像モニターの AF フレーム内に被写体を入れて **SHUTTER** 半押し

ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッ」と電子音



AFフレーム

ライブビュー中のボタン・ダイヤル操作

- OK** 拡大表示
- で倍率変更 (最大10倍)
- ▲▼◀▶で拡大位置移動
- で中央に戻る
- OK** で等倍に戻る

- LV** ライブビュー終了

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

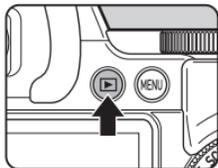
メモ

- **AF/AE-L** でピントを合わせることもできます。(p.47)
- クイックビューの画面表示と動作については、**4**メニュー「クイックビュー」で設定できます。(p.19)「表示時間」を **HOLD** に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 を押す



再生モードになり、最新画像が表示（1画像表示）



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀ 前の画像を表示

▶ 次の画像を表示

 消去

○右 拡大表示（最大16倍）

▲▼◀▶で拡大位置移動

○で中央に戻る

OKで全体表示に戻る

○左 分割表示（p.62）

 RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）

 表示情報切り替え（p.13）

▼ 再生モードパレット表示（p.61）

メモ

- 画像モニターに  RAW が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。（バッファRAW保存）

記録方法を設定する

静止画の記録設定

静止画の記録形式／記録サイズ／画質はコントロールパネル、または \odot 1メニュー「記録設定」で設定します。



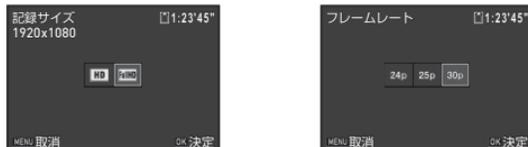
記録形式	JPEG / RAW / RAW+
JPEG記録サイズ	L / M / S / XS
JPEG画質	★★★ / ★★ / ★
RAWファイル形式	PEF / DNG

●メモ

- 「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- 「RAWファイル形式」の「PEF」は、PENTAX独自のRAWファイルフォーマットです。

動画の記録設定

動画の記録形式はコントロールパネル、または \odot 1メニュー「記録設定」で設定します。



記録サイズ	フレームレート
FullHD	30p / 25p / 24p
HD	60p / 50p

静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	用途	参照
AUTO オートピクチャー モード	☺ (標準) / 👤 (人物) / 🌄 (風景) / 🔍 (マクロ) / 🏃 (動体) / 🌃 (夜景人物) / 🌇 (夕景) / ☁ (青空) / 🌲 (フォレスト) から最適な 撮影モードをカメラが自動選択	p.34
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的 に合った撮影モードを選択	p.38
EFFECT エフェクトモード	さまざまな効果を設定して撮影	p.39
P / Sv / Tv / Av / TAv / M / B 露出モード	シャッター速度 / 絞り値 / ISO 感度を設定して撮影	p.40

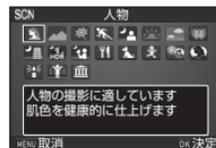
📌 メモ

- 撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」(p.82)を参照してください。

シーンモード

1 モードダイヤルをSCNに合わせる
シーンモード選択画面が表示

2 シーンを選択



👤 人物	肌色を健康的に仕上げる
🌄 風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
🔍 マクロ	花などに近づいて撮影
🏃 動体	動きがある被写体を撮影
🌃 夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
🌇 夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
☁ 青空	深い青で青空を撮影
🌲 フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
🌃 夜景	夜景を撮影
📷 夜景HDR	露出が異なる3枚の画像を合成して仕上げる
🌃 ナイトスナップ	暗いところでのスナップ撮影
🍷 料理	彩度を高めにして料理などを撮影
🐶 ペット	動き回るペットなどを撮影
👶 キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影

 サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
 逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
 キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
 ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
 美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3 OKを押す

撮影待機状態
シーンを変更するときは  を回す

メモ

- シーンは、コントロールパネルまたは  1メニューで変更することもできます。

エフェクトモード

1 モードダイヤルをEFFECTに合わせる
エフェクトモードパレットが表示

2 エフェクトを選択



フェードカラー	クロスプロセス
さわやか	さくらほのか
極彩	ハードモノクローム
ソリッドモノカラー	赤外調
ピンテージカラー	あでみやび

3 OKを押す

撮影待機状態
エフェクトを変更するときは  を回す

4 設定を変更するときは ▼ を押す

パラメーター変更画面が表示

5 ◀▶ でパラメーターを変更

ファインダー撮影時は  でプレビュー表示
ライブビュー撮影時は、エフェクトを適用した画像が表示



6 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- エフェクトは、コントロールパネルまたは \square 1メニューで変更することもできます。
- ライブビュー撮影時は、手順2の画面のデザインが異なります。

注意

- EFFECTモードは、ホワイトバランス/カスタムイメージ/デジタルフィルターを組み合わせて実現しているため、これらの機能を任意に設定することはできません。

露出モード

○：設定可 △：条件付きで可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△*1	△*1	○	○
Sv 感度優先 自動露出	×	×	○*2	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	○	○	○*3	×
M マニュアル 露出	○	○	○*2	×
B バルブ露出	×	○	○*2	×

*1 \square 4メニュー「ボタンカスタマイズ」で変更する値を指定可能 (p.74)

*2 ISO AUTO 選択不可

*3 ISO AUTO 固定

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる

ステータススクリーンには、変更可能な値に○が表示



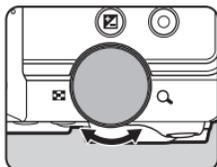
ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示



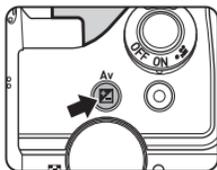
ライブビュー撮影では、変更可能な値に▶が表示



2 ○を回す



TAv / Mモードは [] を押して変更する値を選択



●メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定ができます。C1メニュー「1 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度/絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- Mモードでは、露出の調整中に適正露出との差がバークラフで表示されます。
- Bモードでは、ドライブモードの連続撮影/露出ブラケットは選択できません。
- M / TAvモードのときの○ボタンの機能を、C4メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定できます。(p.75)
- 低速のシャッター速度で撮影するときは、コントロールパネルまたはC2メニュー「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

オート	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
オフ	ノイズリダクションを行わない

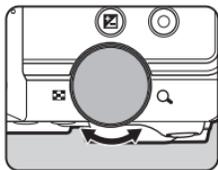
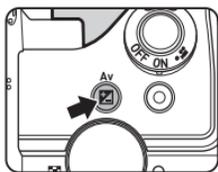
被写界深度を確認する（プレビュー）

C4メニュー「ボタンカスタマイズ」の「グリーンボタン」で○に光学プレビュー/デジタルプレビューを割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。(p.73)

露出補正

露出を-5～+5 EV（モードは-2～+2 EV）の範囲で補正できます。

1 を押してから を回す



補正中はステータススクリーン
／ファインダー内／ライブ
ビューに  と補正值が表示



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|---|----------|
|  | 設定の開始／終了 |
|  | リセット |

●メモ

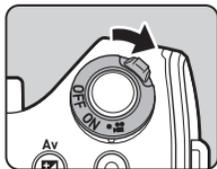
- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは、「露出ブラケット」を利用します。(p.53)

露出を記憶する

撮影前の露出を記憶させるときは、「AEロック」を利用します。AEロックは、に機能を割り当てることで使用できます。(p.73)

動画を撮影する

1 電源レバーを に合わせる



ランプが赤で点灯し、ライブビューが表示



録画可能時間

2 モードダイヤルを設定する撮影モードに合わせる 撮影モードによって、以下の設定が可能

EFFECT	エフェクトを選択
Av / Tv / M	露出を設定（絞り値は撮影前のみ。MモードはISO感度も変更可）
その他	Pモードで動作

3 ピントを合わせる

AFモード時は、**SHUTTER** 半押し

4 **SHUTTER** 全押し

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅し、記録されるファイル容量が表示

5 もう一度 **SHUTTER** を押し

撮影終了

6 モードを終了するときは、電源レバーをONに戻す

 モードのファインダー撮影に戻る

注意

- 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。

メモ

- 動画の設定は、コントロールパネルまたは  1メニューで設定します。（p.20）
- コントロールパネルまたは  1メニュー「録音レベル」で、録音のレベルを設定できます。「マニュアル」を選択したときは、「音量」を0～5で設定できます。
- 動画は最大4GB、または最長25分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

動画の再生

- 1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	(一時停止中) コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	(一時停止中) コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
○	音量調節 (6段階)
☑	(一時停止中) 表示中のコマをJPEG形式で保存

●メモ

- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.70)

露出を設定する

ISO感度



- 1 撮影待機状態で▲を押す

- 2 ▲▼で選択

ISO AUTO	自動調整 上限値を変更可
ISO	ISO 100～51200の間 で固定値を設定



- 3 ○で値を変更

- 4 OKを押す
撮影待機状態に戻る

●メモ

- ISO感度の調整ステップは 1EV ステップです。露出設定ステップに合わせるときは、C1メニュー「2 ISO感度ステップ」で設定します。

高感度時のノイズリダクション



ISO感度を高く設定しているときのノイズ低減処理を、コントロールパネルまたは📷2メニュー「高感度NR」で指定できます。



オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱/中/強	弱/中/強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

「カスタム」を選択した場合は、📷2メニューで、ISO感度別に設定ができます。



測光方式



センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

コントロールパネルまたは📷1メニュー「測光方式」で設定します。



分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

メモ

- 📷1メニュー「5 測距点と露出の関連付」で、測光ポイントと測距点を連動させることができます。

フラッシュを使う



- 1 撮影待機状態で◀を押す
- 2 フラッシュモードを選択



A 自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
A 自動発光 + 赤目軽減	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
F 強制発光	常に発光
F 強制発光 + 赤目軽減	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
SLOW スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
SLOW スローシンクロ + 赤目軽減	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
REAR 後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光 遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れる ように写すことが可能
M マニュアル発光	発光量をFULL~1/128で設定

- 3 光量を補正するときまたは のときは、▼を押してから で調整
 でリセット



- 4 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

- 5 を押す
内蔵フラッシュがポップアップ



メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO / SCN ^{*1}	A / A / F / F
EFFECT / P / Sv / Av	F / F / SLOW / SLOW / SLOW / M
Tv / TA / M / B	F / F / SLOW / M

*1 一部のSCNモードはフラッシュ不可 (p.82)

- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、**C3**メニュー「20 充電中のレリーズ」で設定します。
- 使用するレンズによっては、フラッシュの使用に制限があります。(p.85)

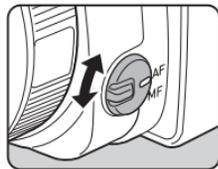
- **Av**モードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/180秒から低速側までシャッター速度が変化します。DA/DA L/DFA/FAJ/FA/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/180秒固定です。
- **Tv**/**TAv**/**M**モードでのフラッシュ撮影は、1/180秒以下のシャッター速度が設定できます。
- 内蔵フラッシュは、被写体との距離が約0.7~5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。

ISO感度	ガイド ナンバー	ISO感度	ガイド ナンバー
ISO 100	約10	ISO 3200	約56.6
ISO 200	約14.1	ISO 6400	約80
ISO 400	約20	ISO 12800	約113
ISO 800	約28.3	ISO 25600	約160
ISO 1600	約40	ISO 51200	約226

- 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.87)を参照してください。

フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで **AF**/**MF** を切り替えます。

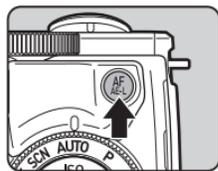


ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 AFS / AF.C とこれらを自動で切り替える AF.A が選択可能 (p.48) 「測距点切替」でピントを合わせる位置を設定 (p.49) 「コントラスト検出式」よりも高速なオートフォーカスが可能
ライブビュー撮影	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能 (p.50)

メモ

- **AF/AE-L** でピントを合わせることもできます。**AF/AE-L** の動作は、**4**メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定します。(p.73)



ファインダー撮影のAFモード



1 撮影待機状態で **INFO** を押す

2 「AFモード」を選択、**OK**を押す
「AFモード」画面が表示

3 AFモードを選択、**OK**を押す



AFA 自動選択モード	被写体の状況に応じて AFS / AFC を自動で切り替え
AFS シングルモード	SHUTTER 半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
AFC コンティニュアスモード	SHUTTER 半押しの間、被写体に合わせ て常にピントを調整 ピントが合うとファインダー内の ●が点灯 ピントが合っていないくても撮影可能

コントロールパネルに戻る

4 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- **C3**メニューでオートフォーカスの動作に関する以下の設定ができます。

15 AF.Sの動作	フォーカス優先/リリース優先
16 AF.C 1コマ目の動作	リリース優先/オート/フォーカス優先
17 AF.C連続撮影中の動作	フォーカス優先/オート/コマ速優先
18 AFホールド	オフ/弱/中/強

- 「18 AFホールド」は、合焦後に被写体が動いて見失ったときにすぐにオートフォーカスを再作動させるか、一定時間フォーカスを保持してからオートフォーカスを作動させるかを設定します。初期設定では、非合焦時にすぐにオートフォーカスが作動します。
- **SCN**モードでは、設定したシーンによって **AFS** / **AFC** のどちらかに固定されます。(p.82)
- **AUTO**モードは、**AFA** 固定です。

測距点を選択する



- 1 撮影待機状態で **INFO** を押す
- 2 「測距点切替」を選択、**OK** を押す
「測距点切替」画面が表示
- 3 測距点を選択、**OK** を押す



	オート (11点)	11点から自動でピント位置を決定
	オート (5点)	5点から自動でピント位置を決定
	セレクト	11点中の任意の1点を選択
	セレクトエリア 拡大	11点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の8点から選択 A.F.S 時は選択不可
	スポット	11点中の中央の1点にピントを合わせる

コントロールパネルに戻る

- 4 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る
手順3で / を選択した場合は、手順5へ

5 測距点を指定



ボタン・ダイヤル操作

	測距点を移動
OK	中央に戻す
OK 長押し	の機能を測距点移動モード/ ダイレクトキーモードに切り替え

メモ

- 測距点が移動できるときは、**OK**のランプが消灯します。
- メニューから設定するときは、メニュー「AF設定」の「測距点切替」で設定します。
- OK**長押しの測距点移動モードへの切り替えを、でできるように設定することもできます。(p.73)

ライブビュー撮影のAFモード



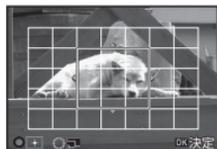
- 1 ライブビューの撮影待機状態で **INFO** を押す
- 2 「コントラストAF」を選択し、**OK** を押す
「コントラストAF」画面が表示
- 3 AFモードを選択し、**OK** を押す



顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示
顔検出アシスト	カメラを自分に向けて撮影
追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていない場合でも撮影可能
多点オート	任意のエリアにピントを合わせるセンサーを35分割（横7×縦5）し、AFエリアを任意の範囲に設定。AFエリアの大きさは、35分割中の1/9/15/25/35個のサイズから選択
セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

コントロールパネルに戻る

- 4 **MENU** を押す
撮影待機状態に戻る
手順3で / を選択した場合は、手順5へ
- 5 **OK** を長押し
- 6 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

- AFエリアを移動
- (多点オート) AFエリア拡大／縮小
- 中央に戻す

- 7 **OK** を押す
AFエリアが確定

注意

- は、フォーカスロック動作（**SHUTTER** 半押し状態での構図調整）はできません。

メモ

- のときは、検出した顔の数をグリップ部ランプの点灯数（0～5）で確認できます。
- メニューから設定するときは、 3メニュー「ライブビュー」の「コントラストAF」で設定します。
- コントロールパネル、または 3メニュー「ライブビュー」の「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。**AF** / **MF** の両方で有効です。

AF位置を微調整する

C4

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

1 **C4**メニュー「25 AF微調整」を選択、▶を押す
「25 AF微調整」画面が表示

2 一律／個別を選択、OKを押す

一律	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別	使用中のレンズの調整値を登録（最大20種類）

3 「設定」で値を調整



ボタン・ダイヤル操作

▶/○右 前方向に調整

◀/○左 後方向に調整

○ リセット

4 **OK**を押す
設定値が登録

5 **MENU**を2回押す
撮影待機状態に戻る

ドライブモードを設定する



以下のドライブモードが選択できます。

1コマ撮影 (□)	通常の撮影
連続撮影 (□/□)	SHUTTER を押している間に撮影 速度によって連続撮影できる枚数が異なる
セルフタイマー (○/○)	SHUTTER を押してから12秒後／2秒後に撮影
リモコン (i/i _{ss})	リモコンで撮影 即時／3秒後が選択可能
露出ブラケット (☒)	露出が異なる画像を連続して3枚撮影

注意

- 一部の撮影モードまたは設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。(p.82)

メモ

- モードでは、OFF/iのみ選択できます。
- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。4メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに1コマ撮影に戻ります。(p.76)
- セルフタイマー／リモコンを選択したときは、Shake Reductionが自動的にオフになります。
- セルフタイマー／リモコンを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを利用してください。(p.42)

3

撮影

連続撮影

1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 □¹を選択、▼を押す



3 □¹ / □²を選択、OKを押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- AFSのときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。

セルフタイマー

1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 ☺を選択、▼を押す



3 ☺ / ☺を選択、OKを押す
撮影待機状態に戻る

4 **SHUTTER** 半押し→全押し

グリップ部ランプが点滅

タイマーが5秒以下になると、残り秒数に応じてランプの
点滅数が5→4→3→2→1→0と変化

12秒後または2秒後に撮影

リモコン

1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 を選択、▼を押す



3  / ss を選択、OKを押す

撮影待機状態に戻る

グリップ部ランプが点滅

ss のときは、残り秒数に応じてランプの点滅数が3→2→1→0と変化

4 SHUTTER 半押し

5 カメラ正面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

メモ

- リモコン撮影できる距離は、カメラ正面から約4mです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、C3メニュー「1 リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの  ボタンでピント合わせができます。Fn ボタンには対応していません。

露出ブラケット

1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 を選択、▼を押す

3 ブラケット幅を設定



ボタン・ダイヤル操作

	ブラケット幅変更（最大±3 EV）
 → 	露出補正
	リセット

4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- 撮影順を変更するときは、C2メニュー「8 ブラケット撮影順」で設定します。
- ブラケット幅は、C1メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- 1回のリリースで設定した枚数をまとめて撮影したい場合は、C2メニュー「9 ワンプッシュブラケット」をオンに設定します。

ホワイトバランスを設定する



- 1 撮影待機状態で▼を押す
ホワイトバランス設定画面が表示

- 2 ホワイトバランスを選択



AWB	AWB オートWB
☼	マルチパターンオートWB
☼	太陽光
☼	日陰
☼	曇天
☼	屋光色蛍光灯
☼	昼白色蛍光灯
☼	白色蛍光灯
☼	電球色蛍光灯
☼	白熱灯
☼	フラッシュ
CTE	Color Temperature Enhancement
☼	マニュアルWB
K	色温度

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

- 設定を適用した背景画像をデジタルレビュー
- ☑ プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

微調整が不要なときは、手順5へ

- 3 **INFO** を押す
微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ G-M（グリーンーマゼンタ）間
- ◀▶ B-A（ブルーアンバー）間
- リセット

- 4 **OK** を押す
手順2の画面に戻る

- 5 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

メモ

- **A** は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。
- **C2** メニューでホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

10 WBの光源調整範囲	固定/自動調整
11 フラッシュ発光時のWB	オートWB/マルチパターン オートWB/フラッシュ/変更しない
12 白熱灯下のAWB	強/弱
13 色温度ステップ	ケルビン/ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

- 1 「ホワイトバランスを設定する」(p.54)の手順2で  を選択



- 2 測定する照明の下で白い被写体を選択し、**SHUTTER** 全押し
撮影画像表示

- 3     で測定範囲を指定



- 4 **OK** を押す

ホワイトバランス設定画面に戻る
測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。**OK**で再測定、手順3に戻る

メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスをマニュアルホワイトバランスに登録できます。(p.61)

色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

1 「ホワイトバランスを設定する」(p.54)の手順2で
Kを選択

2 **INFO** を押す

3 色温度を調整
2500～10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作



色温度変更 (100K単位)



微調整

4 **OK** を押す

ホワイトバランス設定画面に戻る

●メモ

- ・C2メニュー「13色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、20ミレッド単位で色温度が設定できます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真を撮影したいときなどは、できが
りイメージを先に決めてから撮影します。

いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つ
けてください。

カスタムイメージ



1 コントロールパネル「カスタムイメージ」を選択、
OK を押す

カスタムイメージ設定画面が表示

2 画像仕上を選択



鮮やか
ナチュラル
人物
風景
雅 (MIYABI)
ポップチューン

ほのか
銀残し
リバーサルフィルム
モノトーン
クロスプロセス

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

- 設定を適用した背景画像をデジタルレビュー
- ☑ プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 **INFO** を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ パラメーター選択
- ◀▶ 値調整
- シャープネス/ファインシャープネス切り替え（**MEMO**モード時は不可）
- リセット

5 **OK** を押す

手順2の画面に戻る

6 **OK** を押す

コントロールパネルに戻る

7 **MENU** を押す

撮影待機状態に戻る

●注意

- **AUTO** / **SCN** / **EFFECT** モードのときは、設定できません。

撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

「クロスプロセス」を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

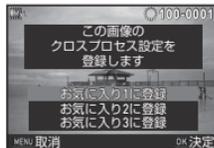
1 再生モードの1画像表示で▼を押す

再生モードパレットが表示

2 **☑** を選択、**OK** を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索
見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

3 **○** でクロスプロセス画像を選択



4 登録する番号を選択、**OK** を押す

指定した画像の設定がお気に入り1~3に登録

●メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.56)の手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1~3を選択して呼び出します。

デジタルフィルター



1 コントロールパネル「デジタルフィルター」を選択、OKを押す

デジタルフィルター設定画面が表示

2 フィルターを選択

デジタルフィルター撮影を終了するときは「フィルターオフ」を選択



色抽出	シェーディング
色の置換え	ネガポジ反転
トイカメラ	ソリッドモノカラー
レトロ	ハードモノクローム
ハイコントラスト	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

- 設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
- プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 INFOを押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ パラメーター選択
- ◀▶ 値調整

5 OKを押す

手順2の画面に戻る

6 OKを押す

コントロールパネルに戻る

7 MENUを押す

撮影待機状態に戻る

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.82)
- 録画モードのときは、CAMERAメニュー「デジタルフィルター」は選択できません。CAMERAメニュー「デジタルフィルター」で設定してください。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.68)

補正して撮影する

明るさを補正する

ハイライト補正／シャドウ補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。

コントロールパネル、またはCAM2メニュー「D-Range設定」で設定します。



注意

- ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

メモ

- SCNモードのときのハイライト補正は、オート／オフが設定できます。

HDR撮影



露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

コントロールパネルまたはCAM1メニュー「HDR撮影」で設定します。



注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.82)
- 「記録形式」は、JPEG固定です。「記録形式」がRAW／RAW+に設定されていたときは、JPEGに変更されます。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

メモ

- SCNモードのCAM1に設定されているときは専用のHDR設定になるため、「HDR撮影」は設定できません。
- CAM1メニューで設定したときは、「自動位置調整」のオン／オフが設定できます。

レンズ特性を補正する



コントロールパネル、または **カメラ2** メニュー「レンズ補正」で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

●メモ

- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。(p.84) また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリを装着した場合は、設定は無効です。
- 「記録形式」がRAW/RAW+の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、RAW展開時にオン/オフが選択できます。また、RAW展開時には「フリッジ補正」が設定できます。(p.71)

ローパスフィルター効果を利用する



Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。コントロールパネルまたは **カメラ3** メニュー「ローパスセクター」で設定します。



Type1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
Type2	モアレ低減優先
ブラケット	オフ/Type1/Type2の順に連続して撮影（1回のリリースで3枚撮影）

●注意

- 以下のときは、ローパスセクターは利用できません。
 - HDR撮影設定時
 - **モード**
- 以下のときは「ブラケット」は選択できません。
 - SCNモードの **設定** / **設定** / **設定**
 - **B**モード
 - ドライブモードが連続撮影/露出ブラケットのとき
 - 撮影可能枚数が2枚以下のとき

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、**▶1**メニュー (p.21) のほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能	参照
画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.64
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.68
色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正	p.68
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.67
トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り	p.67
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.77
スライドショー	画像を連続再生	p.64
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.55
クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.57
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換して保存	p.71

項目	機能	参照
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.70
Eye-Fi画像転送 *1 *5	Eye-Fiカード使用時に、画像を選択して転送	p.81

*1 動画表示時は実行不可

*2 RAW画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可能

*4 動画表示時のみ実行可能

*5 Eye-Fiカード挿入時のみ実行可能

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚（6／12／20／35／80画像）ずつ表示します。

- 1 再生モードで  を左に回す
複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

 複数画像表示
選択画面



 選択消去

- 2 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

選択して消去する

- 1 「複数画像を表示する」(p.62) の手順1の画面で  を押す
- 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

OK 消去画像を選択／解除

 範囲指定

 選択画像を1画像表示
 で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

- 3  を押す
消去の確認画面が表示

- 4 「消去」を選択、**OK** を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - RAW展開 (p.71)
 - プロテクト (p.77)
 - Eye-Fi選択転送 (p.81)

フォルダーごとに表示する

- 1 「複数画像を表示する」(p.62)の手順1の画面で○を左に回す
フォルダーが表示



ボタン・ダイヤル操作

-
- ▲▼◀▶ 選択枠を移動

 - 🗑️ フォルダー消去

- 2 **OK** を押す
フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

- 1 「フォルダーごとに表示する」(p.63)の手順1の画面で消去フォルダーを選択、🗑️を押す
消去の確認画面が表示
- 2 「消去」を選択、**OK**を押す
フォルダーとフォルダー内画像が消去
フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示する」(p.62)の手順1で **INFO** を押す
複数画像表示選択画面が表示
- 2 「撮影日別表示」を選択



ボタン・ダイヤル操作

-
- ▲▼ 撮影日選択

 - ◀▶ 撮影日内の画像を選択

 - 右 選択画像を1画像表示

 - 🗑️ 選択画像を消去

- 3 **OK** を押す
選択画像が1画像表示

連続して再生する（スライドショー）

1 再生モードパレットでを選択

スライドショー開始

ボタン・ダイヤル操作

	一時停止／再開
	前の画像を表示
	次の画像を表示
	停止
	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

メモ

- スライドショーの表示間隔／画面効果／繰り返し再生／動画自動再生について変更するときは、1メニュー「スライドショー」で設定します。この画面からスライドショーを開始することもできます。

画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。1メニュー「画像の自動回転」がオン（初期設定）に設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択

画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 で回転方向を選択、

を押す

回転情報が更新



注意

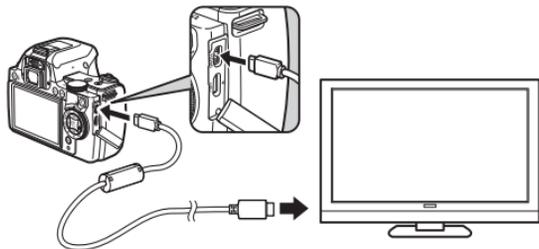
- C4**メニュー「22 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

HDMI 端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。HDMI 端子（タイプD）を備えた市販のHDMIケーブルを用意してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV機器の映像入力端子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

●注意

- AV 機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV 機器側で音量を調節してください。

●メモ

- ご使用の AV 機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 長時間使用するときは、別売の AC アダプターキットのご使用をお勧めします。
- 出力方式は、AV 機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、2メニュー「HDMI 出力」で設定を変更してください。

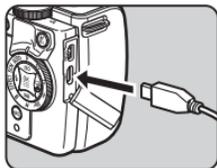
パソコンと接続する

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。
micro B端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、 USB端子にUSBケーブルを 接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識
USB接続中は、カメラのグリップ部ランプがゆっくり点滅

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

●注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
- 手順5でパソコンの画面に「PENTAX K-S1」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリックします。

●メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.98)を参照してください。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、メニュー「USB接続」で設定します。初期設定は「MSC」になっており、通常は変更する必要はありません。

画像を加工・編集する

画像のサイズを変更する

●注意

- リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- すでに最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する（リサイズ）

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで \square を選択 記録サイズ選択画面が表示

3 \blacktriangleleft \blacktriangleright で記録サイズを選択、**OK** を押す 元の画像より小さいサイズから 選択可能 保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、**OK**を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで \square を選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ／ 範囲を指定



ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|--|------------------|
| \odot | トリミングサイズ変更 |
| \blacktriangle \blacktriangledown \blacktriangleleft \blacktriangleright | トリミング範囲移動 |
| INFO | アスペクト比・画像回転設定 |
| \odot | トリミング範囲回転（可能時のみ） |

4 **OK**を押す 保存の確認画面が表示

5 「保存」を選択、**OK**を押す

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで  を選択

補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示

3 ◀▶ で強度を選択、**OK** を押す

保存の確認画面が表示



4 「保存」を選択、**OK** を押す

●注意

- 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで  を選択
デジタルフィルター選択画面が表示

3 フィルターを選択
 で画像切り替え



ベースメイク	デッサン
色抽出	水彩画
色の置換え	パステル
トイカメラ	ポストリゼーション
レトロ	ミニチュア
ハイコントラスト	ソフト
シェーディング	クロス
ネガポジ反転	フィッシュアイ
ソリッドモノカラー	スリム
ハードモノクローム	モノトーン
ドラマチックアート	

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

4 **INFO** を押す

パラメーター設定画面が表示

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ パラメーター選択
- ◀▶ 値調整

6 OKを押す

手順3の画面に戻る

7 OKを押す

保存の確認画面が表示

8 フィルターを重ねる／保存を選択、OKを押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

●注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG／RAW画像のみです。

●メモ

- フィルターは撮影時デジタルフィルター (p.58) も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示

2 再生モードパレットで [F] を選択

3 「フィルターを再現する」を選択、OKを押す

選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合は [INFO] を押す

再度 [INFO] を押すと元の画面に戻る



5 OKを押す

画像選択画面が表示

6 [F] でフィルター処理する画像を選択、OKを押す

フィルター処理されていない画像のみ選択可能
保存の確認画面が表示



7 「保存」を選択、OKを押す

メモ

- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

動画の編集

1 画像表示で対象動画を表示

2 再生モードパレットでを選択 動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマが表示

4箇所（5分割）まで指定可能



ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	(一時停止中) コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	(一時停止中) コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
⦿	音量調節
INFO	分割位置指定／解除

消去しない場合は、手順7へ

4 を押す

消去指定画面が表示

5 ◀▶で選択枠を移動、OKを押す

消去範囲を選択（複数選択可能）
再度OKを押すと、選択解除



6 MENUを押す

手順3の画面に戻る

7 OKを押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、OKを押す

メモ

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットでRAWを選択

処理単位の選択画面が表示

2 処理単位を選択、OKを押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ

画像／フォルダーの選択画面が表示

3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.62)の手順2を参照

4 INFOを押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーター設定方法を選択、OKを押す



撮影時の設定で展開	記録設定（記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質）を設定
設定を変更して展開	記録設定（記録形式／アスペクト比／JPEG記録サイズ／JPEG画質／色空間）／レンズ補正（ディストーション補正／倍率色収差補正／周辺光量補正／回折補正／フリント補正）／デジタルフィルター／ホワイトバランス／カスタムイメージ／増減感／高感度NR／シャドー補正を設定

6 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◀▶ 値変更

○ (1画像選択時) 画像切り替え

記録設定／レンズ補正は、▶を押してから▲▼で項目選択
デジタルフィルター／ホワイトバランス／カスタムイメージは、▶で設定画面を表示

7 OK を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、OK を押す

「1画像選択」の場合は継続/終了を選択、OK を押す

●注意

- RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。
- **EFFECT** モードで撮影したRAW画像のホワイトバランス/カスタムイメージ/デジタルフィルターのいずれかを変更してRAW展開を行うと、エフェクトの情報が削除されます。その場合、再生モードの詳細情報表示では、**P**モードと表示されます。

●メモ

- 手順 2 で複数画像選択/フォルダー選択を選択した場合は、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG画像が保存されます。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンでRAW展開ができます。

カメラの設定

ボタンをカスタマイズする



AF/AE-L / ● / ○の動作を設定します。

1 カメラメニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を押す
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

2 ボタンを選択、▶を押す
各ボタンの設定画面が表示



3 割り当てる機能を選択、OKを押す
それぞれ以下の機能が割り当て可能

	設定	機能	参照
AF/AE-L ボタン	AF作動1	AF/AE-Lを押すとオートフォーカスが作動	p.47
	AF作動2	AF/AE-Lを押すとオートフォーカスが作動。SHUTTER半押し無効	
	AF/AE-L ボタン (動画)	AF/AE-Lを押している間、フォーカスモードをMFにする。SHUTTER半押し無効	
	AFキャンセル	AF/AE-Lを押している間、フォーカスモードをMFにする。SHUTTER半押し無効	
	AEロック	露出を記憶	p.42
グリーンボ タン	グリーンボタン	調整中の値をリセット	-
	ワンタッチ RAW+	一時的に記録形式を変更	p.74
	光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認	p.41
	デジタルプレ ビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニターで確認（最長60秒） 拡大表示したり、プレビュー画像の保存が可能	
	測距点切替	測距点移動を有効に切り替え	p.49

	設定	機能	参照
電子ダイヤル	順方向	○を右 (Q側) に回すと+	-
	逆方向	○を左 (Q側) に回すと+	

4 MENU を押す

「ボタンカスタマイズ」画面に戻る
手順2~4を繰り返す

5 MENU を2回押す

ワンタッチRAW+を設定する

- 「ボタンをカスタマイズする」(p.73)の手順3で「グリーンボタン」を「ワンタッチRAW+」に設定
- 「撮影毎に解除」の/□を切り替え

<input checked="" type="checkbox"/>	1回撮影するたびに「記録形式」の設定に戻る
<input type="checkbox"/>	以下の操作を行うまで設定を継続 <ul style="list-style-type: none"> 再度○を押す <input checked="" type="checkbox"/> / MENU / モードダイヤル / 電源レバーのいずれかを操作

3 各記録形式に対する○を押したときの記録形式を選択

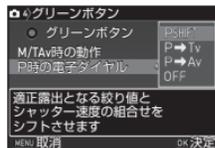
左が「記録形式」の設定、右が○を押したときの記録形式



Pモードの電子ダイヤルの動作を設定する

Pモードのときに○で変更する値を設定します。

- 「ボタンをカスタマイズする」(p.73)の手順3で「グリーンボタン」を「グリーンボタン」に設定
- ▼を押し、「P時の電子ダイヤル」で設定を選択



P SHIFT	シャッター速度/絞り値の組み合わせが適正露出になるようシフト (プログラムシフト)
P→Tv	シャッター速度を設定 (シャッター優先自動露出)
P→Av	絞り値を設定 (絞り優先自動露出)
OFF	P モード時の○操作無効

メモ

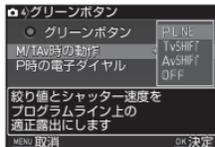
- を操作後に●を押すと、通常のPモードの設定に戻ります。

M/TAvモードのグリーンボタンの動作を設定する

M/TAvモードのときの○の動作を設定します。

1 「ボタンをカスタマイズする」(p.73)の手順3で「グリーンボタン」を「グリーンボタン」に設定

2 ▼を押し、「M/TAv時の動作」で設定を選択

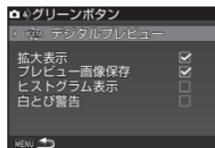


P LINE	絞り値/シャッター速度をプログラムライン上の適正露出に調整
Tv SHIFT	絞り値固定のままシャッター速度をシフト
Av SHIFT	シャッター速度固定のまま絞り値をシフト
OFF	M/TAv モード時の○操作無効

デジタルプレビュー時の表示を設定する

1 「ボタンをカスタマイズする」(p.73)の手順3で「グリーンボタン」を「デジタルプレビュー」に設定

2 ▼を押し、表示の□/☑を設定



目的地の日時を表示する



「初期設定」(p.31) で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

1 1メニュー「ワールドタイム」を選択

「ワールドタイム」画面が表示

2 「時刻切替」で表示する時刻を選択

⏏ (現在地) / ➔ (目的地)



3 「➔目的地」を選択、▶を押す

「➔目的地」画面が表示

4 ◀▶で都市を選択

⊙で地図表示切り替え



5 「夏時間」を選択、◀▶で☐/☑を設定

6 OKを押す

「ワールドタイム」画面に戻る

メモ

- 現在地/目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.97)を参照してください。
- 手順3で「⏏現在地」を選択すると、現在地の都市/夏時間を変更できます。
- 「時刻切替」を➔に設定すると、コントロールパネルに➔と目的地の日時が表示されます。

カメラに保存する設定を選択する



本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する(☑)か初期設定に戻す(☐)かを選択できます。初期設定は、デジタルフィルター/HDR撮影/撮影情報表示は☐、それ以外は☑です。

4メニュー「モードメモリ」で設定します。

フラッシュモード	フラッシュ光量補正
ドライブモード	デジタルフィルター
ホワイトバランス	HDR撮影
カスタムイメージ	撮影情報表示
ISO感度	再生情報表示
露出補正	

メモ

- 13メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

●注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

1 再生モードパレットで **Fn** を選択

処理単位の選択画面が表示

2 画像選択／フォルダー選択 を選択、**OK** を押す



3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.62)の手順2を参照

「フォルダー選択」は、手順5へ

4 **INFO** を押す

確認画面が表示

5 「プロテクト」を選択、**OK** を押す

●メモ

- メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、**Fn**メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

フォルダー／ファイルの設定

2

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダー名を変更することができます。

1 **Fn**メニュー「フォルダー名」を選択、**▶**を押す 「フォルダー名」画面が表示

2 フォルダー名を選択、**OK** を 押す



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が2桁で付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
PENTX	フォルダー番号の後ろに「PENTX」の文字列が付く 文字列を変更可能 例) 101PENTX

「PENTX」の文字列を変更しない場合は、手順6へ

5

設定

- 3 ▼を押してから▶を押す
文字を入力する画面が表示

- 4 文字を入力
半角5文字で英数字を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|------|----------------------------------|
| ▲▼◀▶ | 文字選択カーソルを移動 |
| ○ | 文字入力カーソルを移動 |
| ○ | リセット (「PENTX」に戻る) |
| OK | 文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力 |

- 5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す
手順2の画面に戻る

- 6 MENU を2回押す

メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚 (Eye-Fiカードは最大100枚) の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、露出ブラケット撮影では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。
- 2メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを新しく作成します。
- 「RAW展開」の複数画像選択/フォルダー選択を実行したときは、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG画像が保存されます。(p.71)

注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダー使用時に、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル名の番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、C3メニュー「21 色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGpxxxx.JPG
AdobeRGB	_IMGxxxx.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

1 **2**メニュー「ファイル名」を選択、**▶**を押す
「ファイル名」画面が表示

2 **📷**/**📹**を選択、**▶**を押す
文字を入力する画面が表示



3 文字を入力

半角4文字以内で英数字を入力

入力方法は「フォルダー名」(p.77)の手順4~5を参照

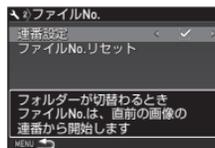
4 **MENU** を2回押す

メモ

- 色空間がAdobeRGBの場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- 動画は色空間の設定に関係なく「IMGpxxxx.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001~9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを**2**メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
<input type="checkbox"/>	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

著作権情報を設定する

2

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

- 1 2メニュー「著作権情報」を選択、を押す
「著作権情報」画面が表示

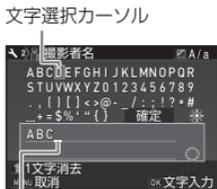
- 2 で「著作権情報の添付」を指定



- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | 著作権情報を記録しない |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 著作権情報を記録する |

- 3 撮影者名／著作権者名を選択、を押す
文字を入力する画面が表示

- 4 文字を入力
半角32文字以内で英数字・記号
を入力



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

- | | |
|--|----------------------------------|
| | 文字選択カーソルを移動 |
| | 文字入力カーソルを移動 |
| | 大文字／小文字切り替え |
| | 文字入力カーソル位置の文字を消去 |
| | 文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力 |

- 5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、を押す
手順2の画面に戻る

- 6 を2回押す

メモ

- Exif情報は、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

通信カードを利用する

3

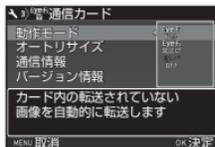
本機は、無線LAN（Wi-Fi通信）機能を内蔵したメモリーカード「Eye-Fiカード」または本機対応の「FLUカード」が使用できます。これらを使用すると、無線LAN経由でパソコンなどに画像が転送できます。

Eye-Fiカード／FLUカード使用時の動作を設定します。

1 3メニュー「通信カード」を選択、▶を押す
「通信カード」画面が表示

2 「動作モード」を選択

挿入しているカードの種類に
じて設定項目が表示



Eye-Fiカード

AUTO	画像を撮影または新規保存するたびに自動的に転送 動画は2GB以下の場合のみ転送
SELECT	転送する画像／フォルダーを再生モードパレットの「Eye-Fi画像転送」で選択可能 (p.61) 転送できるのはJPEG／RAWのみ
OFF	通信機能を停止

FLUカード

ON	通信機能を使用
OFF	通信機能を停止

3 「オートリサイズ」の□／☑を設定

☑にすると、Eye-Fiカード／FLUカードに記録するJPEG画像をXSで保存

4 MENU を2回押す

注意

- Eye-Fiカード／FLUカードが挿入されていないときは、設定できません。
- カードを接続する無線LANアクセスポイントは、パソコンで設定してください。
- FLUカードを使用する場合は、カードのファームウェアをアップデートしてから使用してください。
- Eye-Fiカードの仕様と設定によって、RAWが転送できるかどうか異なります。
- バッテリー残量が少ないと、転送できない場合があります。
- 大量の画像を転送する場合は、時間がかかることがあります。また、カメラ内が高温になると、電源が切れることがあります。
- Eye-Fiカードに関する注意事項は、「Eye-Fiカードについて」(p.107)を参照してください。

メモ

- 本機対応のFLUカードを使用すると、スマートフォンから本機の操作ができます。詳細と詳しい使用方法は、FLUカードに付属の使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカード使用時は、1フォルダーに100枚ずつ保存されます。RAW+の画像は2ファイルで1枚とみなされます。
- 手順2の画面の「通信情報」で無線LANの情報が確認できます。「バージョン情報」でカードのバージョン情報などが確認できます。
- 手順2の画面の「通信設定のリセット」を選択すると、「動作モード」が初期状態に戻ります。

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可

機能		撮影モード	AUTO	SCN							EFFECT	B	
ISO感度								×	×		×		ISO AUTO 不可
フラッシュ						×	×				×		
ドライブモード	連続撮影				☑固定		×			☑固定			×
	セルフタイマー				×					×			
	リモコン				×					×			
	露出ブラケット				×		×			×			×
フォーカスモード		AFA	AFS	AFS 固定	AFC 固定	AFS 固定	AFS 固定	AFC 固定	AFC	AFC 固定			
記録形式	RAW/RAW+						×						
Shake Reduction							×						×
ホワイトバランス		×	×	×	×	×	×	×	×	×			
カスタムイメージ		×	×	×	×	×	×	×	×				

機能	撮影モード	AUTO	SCN							EFFECT	B	
デジタルフィルター							×				×	
HDR撮影					×		専用設定			×		×
ローパスセクター					ブラケット不可		×			ブラケット不可		
バッファ RAW保存					×					×		

*1 撮影モードによって固定値がプリセット

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可

		ドライブモード				HDR撮影
		連続撮影	セルフタイマー	リモコン	露出ブラケット	
フラッシュ						×
記録形式	RAW/RAW+					×
Shake Reduction			×	×		
デジタルフィルター						×
ローパスセクター		ブラケット不可				×
バッファ RAW保存		×				

各種レンズ使用時の機能

DA/DA L/FA Jレンズ、または絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。

これ以外のレンズや絞りを **A** 位置以外で使用する場合は、以下の制限があります。

○：使用可能 △：機能制限あり ×：使用不可

レンズグループ [マウント名称]	DA DA L D FA	FA J FA ^{*6}	F ^{*6}	A	M P
	[KAF] [KAF2] [KAF3]	[KAF] [KAF2]	[KAF]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}	○ -	○ -	○ -	- △	- △
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケータ 表示の利用) ^{*2} (マツ面の利用)	○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス	△ ^{*4}	×	×	×	×
測距点「オート」	○	○	○	△ ^{*8}	×
測光方式「分割」	○	○	○	○	×
P/Sv/Tv/Av/TA vモード	○	○	○	○	△ ^{*9}
M モード	○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}	○	○	○	○	×
レンズ焦点距離の自動取得	○	○	○	×	×
レンズ補正	○ ^{*5}	×	×	×	×

- *1 レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能
- *2 レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
- *3 内蔵フラッシュまたはAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ II/AF200FG/AF160FC使用時
- *4 対応レンズのみ可能
- *5 DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正/周辺光量補正無効
- *6 FA SOFT 28mm F2.8/FA SOFT 85mm F2.8/F SOFT 85mm F2.8では、**C4**メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- *7 FA 31mm F1.8 Limited/FA 43mm F1.9 Limited/FA 77mm F1.8 Limitedのみ可能
- *8 「スポット」固定
- *9 絞りは開放の**Av** (絞りリング無効)

注意

- 絞り **A** 位置があるレンズを絞り **A** 位置以外で使用したり、**A** 位置のないレンズやオート接写リング、オートペローズなどのアクセサリを取り付けた場合、**C4**メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を設定しない限り、カメラは作動しません。「絞りリングの使用を許可する」(p.86)を参照してください。

レンズ名称とマウント名称

DAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント(AFカブラーのないレンズはKAF3マウント)です。FAの単焦点レンズ(ズームでないレンズ)と、モーターを搭載していないDA/DA Lレンズ、D FA/FA J/FレンズのマウントはKAFマウントです。詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA FISH-EYE 10-17mm F3.5-4.5 ED (IF) / DA 12-24mm F4 ED AL / DA 14mm F2.8 ED (IF) / DA 15mm F4 ED AL / FA★300mm F2.8 ED (IF) / DA★560mm F5.6 ED AW / FA★600mm F4 ED (IF) / FA★250-600mm F5.6 ED (IF)	ケラレが発生するので内蔵フラッシュ使用不可
F FISH-EYE 17-28mm F3.5-4.5	焦点距離が20mm未満ではケラレが発生することがある
DA 16-45mm F4 ED AL	焦点距離が28mm未満のとき、または焦点距離が28mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生することがある
DA★16-50mm F2.8 ED AL (IF) SDM	焦点距離が20mm以下のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1.5m未満のときはケラレが発生
DA 17-70mm F4 AL (IF) SDM	焦点距離が24mm未満のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生
DA 18-250mm F3.5-6.3 ED AL (IF)	焦点距離が35mm未満ではケラレが発生
DA 18-270mm F3.5-6.3 ED SDM	焦点距離が24mm未満ではケラレが発生することがある

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
FA★28-70mm F2.8 AL	焦点距離が28mmで撮影距離が1m未満のときは、ケラレが発生することがある
FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8	内蔵フラッシュは常にフル発光

レンズ焦点距離を入力する



Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動で取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

1 C4メニュー「26 絞りリングの使用」を「許可」に設定する

2 カメラの電源を切る

3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる
「焦点距離入力」画面が表示

4 ▲▼で焦点距離を選択

◀を押すと一覧から選択
ズームレンズ使用時は、撮影で使用する焦点距離を設定



5 OKを押す

撮影待機状態に戻る

●メモ

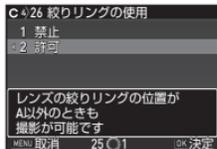
- レンズ焦点距離は、**C3**メニュー「焦点距離入力」で変更できます。
- 絞り **A** 位置がないレンズの場合または絞りを **A** 位置から外して使用する場合は、**C4**メニュー「26 絞りリングの使用」を「許可」に設定してください。(p.86)

絞りリングの使用を許可する

C4

D FA / FA / F / A レンズで絞りを **A** 位置以外にしたり、**A** 位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を選択します。



この場合、次の制約があります。

使用レンズ	撮影モード	制約
D FA / FA / F / A / M (レンズ単体、オート接写リングKなどの自動絞り機能のアクセサリーと組み合わせた場合)	Av	絞りは開放固定 レンズの開放絞りに連動してシャッター速度は変化するが、露出の誤差が生じることがある

使用レンズ	撮影モード	制約
D FA / FA / F / A / M / S (接写リングKなどの絞り込み機能のアクセサリーと組み合わせた場合)	Av	設定した絞り値で撮影されるが、露出の誤差が生じることがある
レフレックスレンズなどの手動絞りのレンズ (レンズ単体)	Av	
FA SOFT 28mm / FA SOFT 85mm / F SOFT 85mm (レンズ単体)	Av	手動絞りの範囲のみ、設定した絞り値で撮影

●メモ

- 絞りを **A** 位置以外にセットした場合、**M** / **B** モード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、**Av** モードで動作します。
- ステータススクリーン / ファインダー内 / ライブビューの絞り値は「F--」と表示されます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュ AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II / AF200FG / AF160FCを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などのさまざまなフラッシュ撮影ができます。

○：使用可能 △：機能制限あり ✕：使用不可

カメラの機能 \ フラッシュ	内蔵フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	○	○	○
フラッシュ自動発光	○	○	○
同調速度への自動切り替え	○	○	○
P / Tv モードで絞り値自動セット	○	○	○
P-TTLオートフラッシュ撮影	○*1	○*1	○*1
スローシンクロ撮影	○	○	○
フラッシュ光量補正	○	○	○
外付けフラッシュのAF補助光使用	✕	○	✕
後幕シンクロ撮影 ^{*2}	○	○	✕
光量比制御モード	△*3	○	△*4
スレープ機能	✕	○	✕
ハイスピードシンクロ撮影	✕	○	✕

- *1 DA / DA L / D FA / FA J / FA / F / Aレンズを使用した場合のみ可能
- *2 シャッター速度は1/90秒以下
- *3 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIと組み合わせたときに、内蔵フラッシュ 1/3、外付けフラッシュ 2/3の光量配分で可能
- *4 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIと組み合わせた場合のみ可能

注意

- 外付けフラッシュを取り付けた状態で、カメラの  を押さないでください。内蔵フラッシュが外付けフラッシュに接触します。内蔵フラッシュと外付けフラッシュを同時に使用する場合は、延長コードを利用して接続してください。
- 極性が逆（ホットシュー中央の接点がマイナス）のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

メモ

- AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIは、1/180秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。カメラの撮影モードをシャッター速度が設定できる撮影モード（**Tv**など）に設定します。

GPSユニットを利用する

本機に別売のGPSユニット O-GPS1を装着すると、以下の機能が使用できます。

電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き（方位）、協定世界時、撮影モード、露出値を表示	
アストロトレーサー	天体を追尾して撮影 カメラに内蔵されているShake Reductionユニットを天体の動きに合わせて動かすことによって、長時間露光でも天体を点状に撮影可能（p.88）	
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメラの日時設定を自動的に補正	

メモ

- GPSユニットの取り付け方や機能の詳細は、GPSユニットの使用説明書を参照してください。
- 「電子コンパス」は、「撮影情報表示選択」（p.12）で表示することができます。

注意

- 本機では「直線ナビ」は使用できません。

天体を撮影する（アストロトレーサー）



- 1 モードダイヤルを**B**に合わせる
- 2 **☰**メニュー「GPS」を選択、**▶**を押す
「GPS」画面が表示
- 3 「アストロトレーサー」で**▶**を押す
「アストロトレーサー」画面が表示
- 4 「B時の動作」で  を選択、**OK**を押す



- 5 撮影時間を指定する場合は「タイマー露光」でオンを選択、「露光時間」で時間を指定
0'10"~5'00"で設定
- 6 **MENU** を3回押す
撮影待機状態に戻る
- 7 **SHUTTER** 全押し
撮影開始
- 8 もう一度 **SHUTTER** 全押し
撮影終了
「タイマー露光」を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影が終了

困ったときは

メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきれえない	内蔵フラッシュが充電中	充電が完了するまで待ってください。
	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りがA位置以外になっている	絞りをA位置にするか、C4メニュー「26 絞りリングの使用」で「許可」を選択してください。(p.86)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスが苦手なものを被写体になっている	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、 AF が苦手なものです。撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、 MF を使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。
フォーカスロックできない	ライブビューのAFモードが[]になっている	「コントラストAF」を[]/[]/[]/[]に設定してください。(p.50)
内蔵フラッシュが発光しない	フラッシュモードが[]/[]になっている	フラッシュモードが[]/[]になっているときは、被写体が明るいと発光しません。フラッシュモードを変更してください。(p.46)
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	2メニュー「USB接続」を「MSC」に設定してください。
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	4メニュー「ダストリムーバー」を実行してください。電源ON/OFF時に毎回動作させることもできます。それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」(p.90)を参照してください。

現象	原因	対処方法
撮影画像や画像モニターの表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	▼4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング

▼4

ミラーをアップし、ブローアを使ってクリーニングします。

- 1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 ▼4メニュー「センサークリーニング」を選択、▶を押す
「センサークリーニング」画面が表示
- 4 「ミラーアップ」を選択、OKを押す
ミラーがアップし、グリップ部ランプが点滅
- 5 ブローアを使用してクリーニングする
- 6 電源を切る
ミラーが戻る

●注意

- スプレー式またはブラシ付きのブローアは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブローア先端をレンズマウント面より中に入れてください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためクリーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センター、またはお客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱい画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。 Eye-Fiカード使用時に、Eye-Fi機能の初期化に失敗しました。OKを押してください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。(p.106)
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。(p.77)

エラーメッセージ	内容
電池容量が足りないため ピクセルマッピングを 行えません	ピクセルマッピング/センサークリーン ング/アップデート実行時にバッテリー 容量が足りない場合に表示されます。十分 に充電したバッテリーを使用してくだ さい。
電池容量が足りないため クリーニングを 行えません	
電池容量が足りないため アップデートを行えません	
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため 実行できません。アップデートファイル を再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用さ れているため、画像が保存できません。 新しいメモリーカードをセットするか、 メモリーカードをフォーマットしてくだ さい。
画像を保存 できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像 が保存できません。
正しく処理できませんでした	マニュアルホワイトバランス調整に失敗 しました。もう一度やり直してください。
	FLUカード使用時に、無線機能の認証に 失敗しました。またはEye-Fiカード/ FLUカード使用時に、「通信設定のリ セット」に失敗しました。
これ以上 選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しよ うとしています。 • 選択消去 • RAW展開 • プロテクト • Eye-Fi画像選択
処理できる 画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、 またはRAW展開できる画像がありませ ん。

エラーメッセージ	内容
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサ イズ/トリミング/デジタルフィルター /動画編集/RAW展開/マニュアルWB 登録を実行した場合、または最小サイ ズの画像に対してリサイズ/トリミング を実行した場合に表示されます。
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、 設定できない機能を設定しようとしてい ます。
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が 切れます。しばらくしてから電源を入 れてください。
Eye-Fi通信設定を セレクトにしてください	3メニュー「通信カード」の「動作 モード」がSELECTに設定されていない ため、選択転送ができません。(p.81)
転送できる画像がありません	Eye-Fiカード使用時に転送可能な画像が ありません。
通信カードが 挿入されていません	Eye-Fiカードが挿入されていないときに 「Eye-Fi画像転送」を実行しようとし ました。
このフォルダーは 選択できません	選択したフォルダー内に規定以上のフ ァイル数があるため、選択ができません。

主な仕様

型式

型式	P-TTLフラッシュ内蔵 TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント (AFカバー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF3、KAF2 (パワーズーム非対応)、KAF、KAマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター/CMOS、サイズ：23.5×15.6mm
有効画素数	約2012万画素
総画素数	約2042万画素
ダストリムーバル	撮像素子駆動およびSPコーティング
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO / 100~51200 (1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式 (SR : Shake Reduction)
ローパスセレクトター	SRユニットを用いたモアレ低減機能、OFF / Type1 / Type2 / ブラケット

記録形式

画像ファイル形式	RAW (PEF/DNG)、JPEG (Exif 2.30) 準拠、DCF 2.0準拠
記録サイズ (画素数)	JPEG : L (20M : 5472×3648)、 M (12M : 4224×2816)、 S (6M : 3072×2048)、 XS (2M : 1920×1280) RAW : L (20M : 5472×3648)
画質	RAW (12bit) : PEF、DNG JPEG : ★★★ (スーパーファイン)、 ★★ (ファイン)、 ★ (エコノミー)、RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB

記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード、Eye-Fiカード、FLUカード (SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付 (100_1018、101_1019...)、任意 (初期値はPENTX)
記録ファイル	ファイル名設定可能 (初期値はIMGP****) ファイルNo.設定：連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95× (50mm F1.4・∞)
アイレリーフ長	約20.5mm (見口枠より)、約22.3mm (レンズ中心より)
視度調節機能	約-2.5~+1.5m ⁻¹
フォーカシングスクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
フォーカス	コントラスト検出式 (顔検出、顔検出アシスト、追尾、多点オート、セレクト、スポット) フォーカスアシスト (ON/OFF)
表示	視野率約100%、拡大表示 (2×、4×、8×、10×)、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示)、ヒストグラム表示、白とび警告

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ
イメージサイズ	3.0型
ドット数	約92.1万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整

ホワイトバランス

方式	撮像素子および光源検知センサーによる併用方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D:昼光色、N:昼白色、W:白色、L:電球色)、白熱灯、フラッシュ、CTE、マニュアル、色温度設定、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX IX i+, 11点測距 (中央9点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -1~18 (ISO 100、常温)
AFモード	シングルAF (AF.S)、コンティニュアスAF (AF.C)、自動選択AF (AF.A)
AFエリア	5点オート、11点オート、セレクト、セレクトエリア拡大、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	TTL開放77分割測光、分割測光/中央重点/スポット
露出範囲	EV 0~22 (ISO 100・50mm F1.4)
露出モード	オートピクチャーモード (標準、人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト)、SCNモード (人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR、ナイトスナップ、料理、ペット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館 ※夜景HDRはJPEGで固定)、EFFECTモード (フェードカラー、さわやか、極彩、ソリッドモノカラー、ピンテージカラー、クロスプロセス、さくらほか、ハードモノクローム、赤外調、あてみやび) プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マニュアル、バルブ
露出補正	±5 EV (1/2 EVステップ、1/3 EVステップ選択可能)

AEロック	メニューにて AE/AF-L に割り当て可能
-------	-------------------------------

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	オート: 1/6000秒~30秒、マニュアル: 1/6000秒~30秒 (1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、バルブ

ドライブ

ドライブモード	[静止画] 1コマ、連続 (H、L)、セルフタイマー (12秒後、2秒後)、リモコン (即、3秒後)、露出ブラケット [動画] リモコンオフ、リモコン
連続撮影	最高約5.4コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続H): 20コマ、RAW: 5コマ、RAW+: 4コマ 最高約3.0コマ/秒、JPEG ([L]・★★★・連続L): 100コマ、RAW: 8コマ、RAW+: 4コマ *連続撮影可能コマ数はISO 100のとき

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ポップアップ機能付きP-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約10 (ISO 100・m)、28mmレンズの画角 (35ミリ判換算) をカバー
発光方式	自動発光、自動発光+赤目軽減 (オートピクチャー、SCNモード時)、強制発光、強制発光+赤目軽減、スローシンクロ、スローシンクロ+赤目軽減、後幕シンクロ、マニュアル発光 (FULL~1/128)
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補正	-2.0~+1.0 EV
外付けフラッシュ	対応、P-TTL、先幕シンクロ、後幕シンクロ、光量比制御、ハイスピードシンクロ ワイヤレスシンクロ可能 (要2台)

撮影機能

カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1〜3、お気に入り1〜3
ノイズリダクション	長秒時NR、高感度NR
ダイナミックレンジ設定	ハイライト補正、シャドー補正
レンズ収差補正	ディストーション補正、倍率色収差補正、周辺光量補正、回折補正
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
HDR撮影	オート/Type1/Type2/Type3、振り幅設定可、自動位置調整可

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264 (MOV)
記録サイズ	 (1920×1080, 30p/25p/24p)、
フレームレート	 (1280×720, 60p/50p)
音声	内蔵ステレオマイク、録音レベル調整可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分まで、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅 (MIYABI)、ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1〜3、お気に入り1〜3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示 (6、12、20、35、80画面)、拡大 (最大16倍まで、クイック拡大可)、回転表示、ヒストグラム表示 (Yヒストグラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー、GPS情報 (緯度、経度、標高、協定世界時)、方位
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去
デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ボスタリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モノトーン
RAW展開	RAW画像選択：1画像選択/複数画像選択/フォルダー選択 RAW展開パラメーター：記録形式 (JPEG)、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間、ディストーション補正、倍率色収差補正、周辺光量補正、回折補正、フリンジ補正、ホワイトバランス、カスタムイメージ、デジタルフィルター、増減感、高感度NR、シャドー補正
編集機能	色モアレ補正、画像回転、リサイズ、トリミング (アスペクト比変更可、傾き修正可)、動画編集 (分割および不要部分消去)、動画フレーム画像 JPEG保存、パッファ RAW保存、Eye-Fi画像転送

カスタマイズ機能

カスタムファンクション	26項目
モードメモリ	11項目
カスタムボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● ボタン (グリーンボタン、ワンタッチRAW+、光学プレビュー、デジタルプレビュー、測距点切替)  ボタン (AF作動1、AF作動2、AFキャンセル、AEロック) 電子ダイヤル (順方向、逆方向)

オートフォーカスカスタマイズ	AF.Sの動作：フォーカス優先/リリース優先から選択可 AF.C 1コマ目の動作：リリース優先/オート/フォーカス優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作：フォーカス優先/オート/コマ速優先から選択可 AFホールド：オフ/弱/中/強から選択可
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応 (28タイムゾーン)
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整 (最大20本まで登録可)
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC128J (別売)
電池寿命	撮影可能枚数...フラッシュ 50%発光：約410枚、 フラッシュ発光なし：約480枚 再生時間...約270分 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、 撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0 (micro-Bタイプ、ハイスピード対応)、 HDMI出力端子 (タイプD)
USB接続	MSC/PTP

外形寸法・質量

外形寸法	約120mm (幅) × 92.5mm (高) × 69.5mm (厚) (突起部を除く)
質量	約558g (バッテリー、SDカード付き)、約498g (本体のみ)

付属品

同梱物	ストラップ O-ST132、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109、充電器 D-BC109、ACコード、ソフトウェア (CD-ROM) S-SW151、スタートガイド <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ Fr、ホットシューカバー Fk、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

別売アクセサリ対応

GPSユニット	O-GPS1：GPS情報 (緯度、経度、標高、協定世界時)、方位、電子コンパス、アストロトレーサー
FLUカード	FLUカード：リモート撮影、画像閲覧

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率 50%	使用率 100%	
D-LI109	23°C	約480枚	約410枚	約360枚	約270分

- 撮影枚数（一般撮影、フラッシュ使用率50%）はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(2GBのメモリーカード使用時)

記録サイズ	JPEG画質			PEF	DNG
	★★★	★★	★		
L 20M	134枚	304枚	596枚	59枚	59枚
M 12M	224枚	503枚	975枚	-	-
S 6M	418枚	917枚	1707枚	-	-
XS 2M	1024枚	2119枚	3615枚	-	-

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

現在地/目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル/アンカレジ/バンクーバー/サンフランシスコ/ロサンゼルス/カルガリー/デンバー/シカゴ/マイアミ/トロント/ニューヨーク/ハリファックス
中南米	メキシコシティ/リマ/サンティアゴ/カラカス/ブエノスアイレス/サンパウロ/リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン/マドリッド/ロンドン/パリ/アムステルダム/ミラノ/ローマ/コペンハーゲン/ベルリン/プラハ/ストックホルム/ブダペスト/ワルシャワ/アテネ/ヘルシンキ/モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール/アルジェ/ヨハネスブルグ/イスタンブール/カイロ/エルサレム/ナイロビ/ジッダ/テヘラン/ドバイ/カラチ/カブール/マーレ/デリー/コロombo/カトマンズ/ダッカ
東アジア	ヤンゴン/バンコク/クアラルンプール/ピエンチャン/シンガポール/プノンペン/ホーチミン/ジャカルタ/香港/北京/上海/マニラ/台北/ソウル/東京/グアム
オセアニア	パース/アデレード/シドニー/ヌーメア/ウェリントン/オークランド/バゴバゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM（S-SW151）からインストールができます。本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8.1 (32bit/64bit) / Windows 8 (32bit/64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit)
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.9 / 10.8 / 10.7、Mac OS X 10.6
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。（Windows 8.1 / Windows 8は、標準搭載の再生ソフトで再生可能）QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。
<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

記号

メニュー	18
メニュー	20
メニュー	21
メニュー	22
メニュー	24
モード	43
人物	38
風景	38
マクロ	38
動体	38
夜景人物	38
夕景	38
青空	38
フォレスト	38
夜景	38
夜景HDR	38
ナイトスナップ	38
料理	38
ペット	38
キッス	38
サーフ&スノー	39
逆光シムレット	39
キャンドルライト	39
ステージライト	39
美術館	39

数字

1画像表示	13, 36
1コマ撮影	51

A

ACアダプター	29
AEロック	42, 73
AF	47
AFA	48
AFC	48
AF.C 1コマ目の動作	48
AF.C連続撮影中の動作	48
AFS	48
AF.Sの動作	48
AF/AE-L ボタン	73
AFエリア	50
AFカブラー	7
AFキャンセル	73
AF微調整	51
AFフレーム	34, 35
AFホールド	48
AF補助光	48
AF補助光ランプ	7
AFモード	48, 50
AFロック時のAE-L	24
AUTO モード	34
AV機器	65
Av モード	40
AWB	54

B

B時の撮影方法	24
B モード	40

C

CTE	54
------------	----

D

Digital Camera Utility 5	98
DNG	37
D-Range設定	59

E

EFFECT モード	39
Eye-Fiカード	30, 81
Eye-Fi画像転送	81

F

FLUカード	30, 81
--------	--------

G

GPSユニット	88
---------	----

H

HDMI出力	65
HDR撮影	59

I

ISO感度	44
ISO感度ステップ	44

J

JPEG	37
------	----

L

Language/言語	31
-------------	----

LCD設定	22
-------	----

M

M/TAv時の動作	75
Macintosh	98
MF	47
Movie SR	20
MSC	89
M モード	40

P

PEF	37
PTP	89
P時の電子ダイヤル	74
P モード	40

Q

QuickTime	98
-----------	----

R

RAW	37
RAW追加保存	19
RAW展開	71
RGBヒストグラム表示	14

S

SCN モード	38
SDメモリーカード	30
Shake Reduction	19
Sv モード	40

T	色毛アレ補正	68	合焦マーク	34	け	蛍光灯 (ホワイトバランス)	54
TAv モード	40	え	画面表示	22, 33		ケルビン	56
TTL位相差検出式	47	エフェクトモード	感度	44		言語設定	31
Tv モード	40	エラーメッセージ	感度優先自動露出	40		現在地	31, 76
U		お	き			現像	71
USB接続	66, 89, 98	オート (測距点)	キッズ (SCN)	38	こ	光学プレビュー	73
USB端子	66	オートパワーオフ	輝度ヒストグラム	14		高感度NR	45
W		オートフォーカス	機能制限	82		光量補正	46
WBの光源調整範囲	55	オートフォーカス	逆光シルエット (SCN)	39		極彩 (EFFECT)	39
Wi-Fi通信	81	オートモード (AFモード)	キャッチインフォーカス			コンティニユアスモード	
Windows	98	オートモード	25		(AFモード)	48
あ		オートリサイズ	キャンドルライト (SCN)			コントラスト検出式	47
青空 (SCN)	38	音声	39		コントロールパネル	11, 16
赤目軽減	46	か	強制発光	46	さ	サーフ&スノー (SCN)	39
明るさ補正	59	カードアクセスランプ	記録形式	37		サイズ変更	67
鮮やか (カスタムイメージ)		回折補正	記録サイズ	37		再生情報表示選択	13
.....	56	回転	記録設定	37		再生メニュー	21
アストロトレーサー	88	回転情報の記録	銀残し (カスタムイメージ)			再生モード	36
アスペクト比	67, 71	ガイドナンバー	56		再生モードパレット	61
アップデータ	23	ガイド表示	く			さくらほのか (EFFECT)	
あてみやび (EFFECT)	39	顔検出 (コントラストAF)	クイック拡大	21		39
後幕シンクロ	46	クイックビュー	19, 34		撮影	34
アフターサービス	108	顔検出アシスト (コントラ	グリーンボタン	73		撮影可能枚数	97
い		ストAF)	グリッド表示	19		撮影者名	80
色温度	56	拡大	グリッポ部ランプ	8		撮影情報表示選択	12
色温度ステップ	55	加工	クロス (デジタルフィル			撮影待機状態	10
色空間	25, 79	画質	ター)	68		撮影日別表示	63
色抽出 (デジタルフィル		カスタマイズ	クロスプロセス (EFFECT)			撮影メニュー	18
ター)	58, 68	カスタムイメージ	39		撮影モード	38
色の置換え (デジタルフィ		カスタムメニュー	クロスプロセス (カスタム				
ルター)	58, 68	カスタムイメージ	イメージ)	56			
		画像仕上	クロスプロセス登録	57			
		画像の自動回転					
		画像モニター					

さわやか (EFFECT).....	39	人物 (SCN).....	38
し		人物 (カスタムイメージ)	56
シーンモード.....	38	す	
シェーディング (デジタル フィルター).....	58, 68	スーパーインポーズ.....	15
時刻切替.....	76	水彩画 (デジタルフィル ター).....	68
自動時刻修正.....	88	ステージライト (SCN) ...	39
自動発光.....	46	ステータススクリーン ...	10
視度調整レバー.....	15	ストラップ.....	26
絞り値.....	40	スピーカー.....	7
絞り優先自動露出.....	40	スポット (コントラストAF)	50
絞りリング付きレンズ ...	86	スポット (測距点).....	49
絞りリングの使用.....	86	スポット測光.....	45
シャープネス (カスタムイ メージ).....	57	スライドショー.....	64
シャッター&絞り優先自動 露出.....	40	スリム (デジタルフィル ター).....	68
シャッター速度.....	40	スローシンクロ.....	46
シャッター優先自動露出	40	せ	
シャドール補正.....	59	静止画.....	38
充電.....	27	赤外調 (EFFECT).....	39
充電中のリリース.....	46	接続ケーブルカバー.....	29
周辺光量補正.....	60	セルフタイマー撮影.....	52
仕様.....	93	セレクト (コントラストAF)	50
消去.....	36	セレクト (測距点).....	49
詳細情報表示.....	13	セレクトエリア拡大 (測距 点).....	49
詳細設定メニュー.....	22	全画像消去.....	21
焦点距離入力.....	85	全画像プロテクト.....	21
初期化.....	33	センサークリーニング ...	90
初期設定.....	31	選択消去.....	62
白とび警告.....	19, 21		
シングルモード (AFモード)	48		

そ		つ	
増減感.....	71	追尾 (コントラストAF)	50
操作部の発光.....	23	通信カード.....	81
像面位置マーク.....	7	吊り環.....	26
測距点.....	49	て	
測距点と露出の関連付 ...	45	ディストーション補正 ...	60
測光作動時間.....	24	デジタルフィルター ..	58, 68
測光方式.....	45	デジタルプレビュー.....	73
外付けフラッシュ.....	87	デッサン (デジタルフィル ター).....	68
ソフト (デジタルフィル ター).....	68	電源.....	31
ソフトウェア.....	98	電子音.....	22
ソリッドモノカラー (EFFECT).....	39	電子コンパス.....	12, 88
ソリッドモノカラー (デジ タルフィルター).....	58, 68	電子ダイヤル.....	9
		電子ダイヤル回転方向 ...	74
		天体撮影.....	88

た		と	
ダイナミックレンジ.....	59	トイカメラ (デジタルフィ ルター).....	58, 68
ダイヤル.....	8	動画編集.....	70
太陽光 (ホワイトバランス)	54	動画メニュー.....	20
ダイレクトキー.....	16	動画モード.....	43
ダストリムーバー.....	89	動作環境.....	98
多点オート (コントラスト AF).....	50	動体 (SCN).....	38
ち		都市名.....	31, 97
中央重点測光.....	45	ドライブモード.....	51
長秒時NR.....	41	ドラマチックアート (デジ タルフィルター).....	68
著作権者名.....	80	トリミング.....	67
著作権情報.....	80	曇天 (ホワイトバランス)	54

も

モードダイヤル	34
モードメモリ	76
モアレ低減	60
目的地	76
文字サイズ	32
モノトーン (カスタムイ メージ)	56
モノトーン (デジタルフィ ルター)	68

や

夜景 (SCN)	38
夜景HDR (SCN)	38
夜景人物 (SCN)	38

ゆ

夕景 (SCN)	38
----------------	----

ら

ライブビュー	11, 19, 35
ランブ	8

り

リサイクル	29
リサイズ	67
リセット	23, 25
リバーサルフィルム (カス タムイメージ)	56
リモコン撮影	53
リモコン時のAF	53
料理 (SCN)	38

れ

レトロ (デジタルフィル ター)	58, 68
レバー	8
レンズ	26, 84
レンズ焦点距離	85
レンズ情報接点	7
レンズ取り外しボタン	26
レンズ補正	60
連続再生	64
連続撮影	52
連動外の自動補正	24
連番設定	79

ろ

ローパスセクター	60
録音レベル	43
録画可能時間	43
露出設定ステップ	41
露出ブラケット	53
露出補正	42
露出モード	40

わ

ワールドタイム	76
ワンタッチRAW+	74
ワンプッシュブラケット	53

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC109で充電式リチウムイオンバッテリーD-L1109以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとする、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 - 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 - 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 - 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

⚠ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 - 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 - ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 - バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC109専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0~40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなるがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ・ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- ・三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

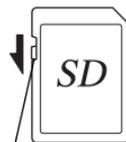
- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブローアは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- ・高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- ・防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- ・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- ・SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- ・カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- ・SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- ・SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- ・SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- ・SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出ししたり、バッテリーを抜いたとき
- ・長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようになってください。
- ・SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・SDメモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。



ライトプロテクト
スイッチ

Eye-Fiカードについて

- 本機は無線LAN機能を内蔵したSDメモリーカード「Eye-Fiカード」が使用できます。
- 無線LANで画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。(http://www.eyefi.co.jp)
- Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新して使用してください。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないか、「動作モード」の設定を「オフ」にしてください。
- Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をオン/オフする機能がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、OS X、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

Eye-Fi、Eye-Fi *connected*、およびEye-FiロゴはEye-Fi, Inc.の登録商標です。

この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。

DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンスリングの商標または登録商標です。

SILKYPPIXは、株式会社川ソフトラボトリーの登録商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
 - (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
- 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件にもとづき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (c) T.Teranishi.

Copyright (c) TeraTerm Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理いたしますので、お買い上げ店が使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかりと梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後1年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - 火災・天災・地変等による故障
 - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

Pentax Ricoh Family Club

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-6327-3700 FAX 03-6327-3701

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ショールーム・ギャラリーのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）

TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間 10：30～18：30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座

TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター9階

営業時間 11：00～19：00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪

TEL 06-6271-7996（代）

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

本製品に関するお問い合わせ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support>

お客様相談センター



ナビダイヤル 0570-001313

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)

営業時間 9:00~17:30 (平日) 10:00~17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み



ナビダイヤル 0570-001301

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
53092